

青葉会の児童発達支援及び放課後等デイサービス事業の ご家族アンケートについて（令和6年7月実施）

社会福祉法人青葉会

青葉会では、ご家族のニーズを探るため、国が定めるガイドラインの評価表等による調査に加えて毎年ご家族に対してオリジナルなアンケート調査を実施してきています。

児童発達支援センター1事業所、放課後等デイサービス4事業所の利用者のご家族を対象に、同じ調査票を使ってアンケート調査をさせていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

ここでは、皆様からいただいたご回答、ご意見をまとめた形でご報告をさせていただきます。たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

事業所	配布数	回答数	回収率
リトルペガサス	70	70	100%
ジュニアペガサス	66	66	100%
第2ジュニアペガサス	55	55	100%
ペガサス	37	36	97.3%
第2ペガサス	42	42	100%
合計	270	269	99.6%

（注）重複あり。

これからも皆様に喜んでいただける楽しい活動を目指して取り組んでいきます。宜しくお願いします。

社会福祉法人青葉会
児童グループ職員一同

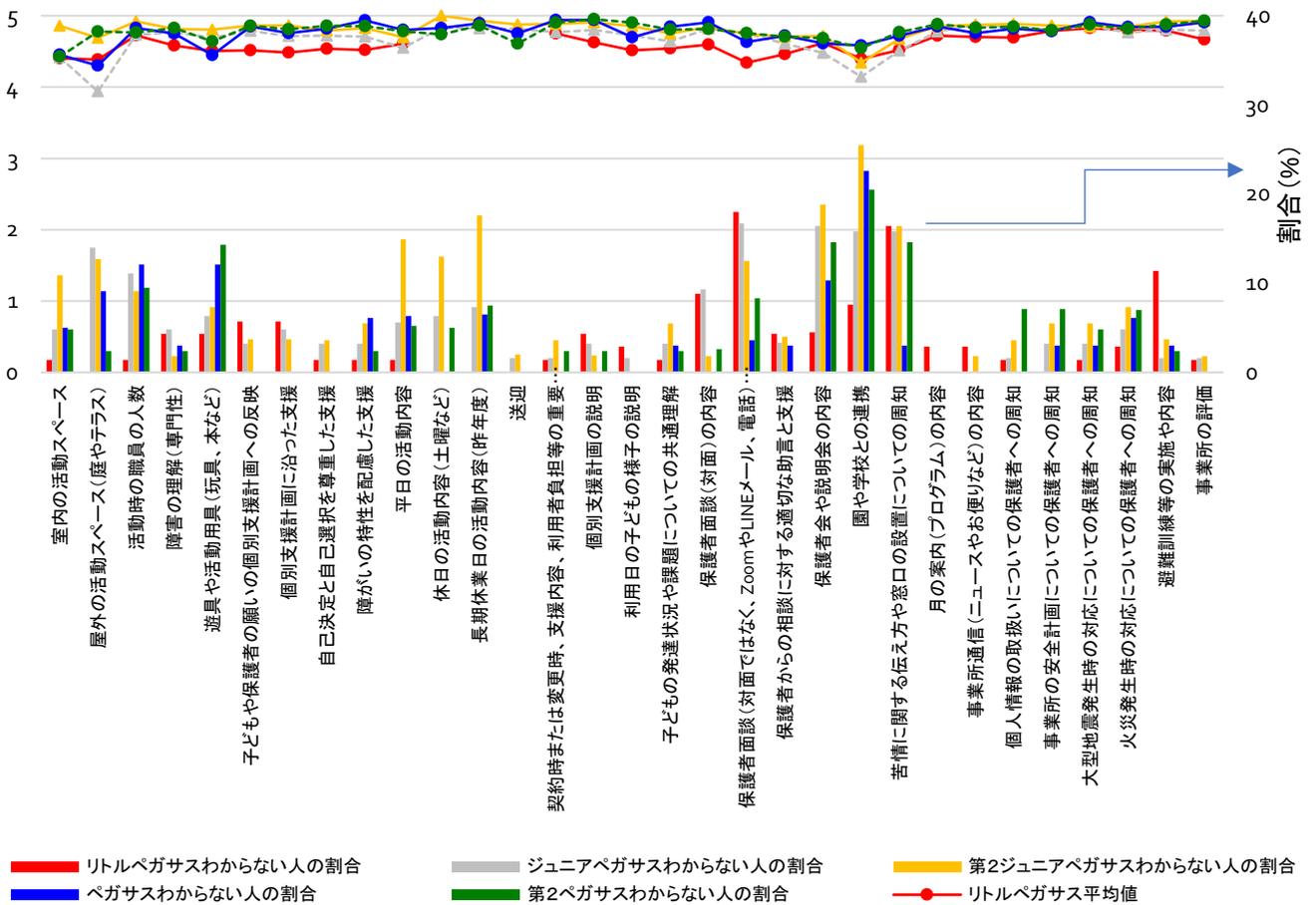
1. 今年度の事業所の活動

最初に、今年度の活動について満足度を尋ねました。回答の「不満」(1点)、「やや不満」(2点)、「どちらでもない」(3点)、「やや満足」(4点)、「満足」(5点)の平均点を出しました。「わからない」と回答した人の割合も合わせて示しました。

今年度のアンケートでは、これまで「わからない」とする回答が非常に多かった「苦情に対する対応」や「学校との連携」「保護者会」「保護者面談の内容」「遊具や活動用具」などの項目に対して、「わからない」とする回答は明らかに減ってきました。

しかし、まだ一定数の方が「わからない」とされていることから、「苦情に対する対応」については、契約時の周知を徹底するとともに、ご利用開始後も相談窓口についてわかりやすく掲示を出す等、「わからない」という状況をなくしていけるよう、さらに取り組んでいきます。

また、「保護者会」や「保護者面談の内容」については、個別支援計画の面談をはじめ、皆様からのニーズにお応えできる内容の勉強会を開催する等、ご家族と職員が対面でお会いしお話しできる機会を積極的につくっていきたいと考えております。

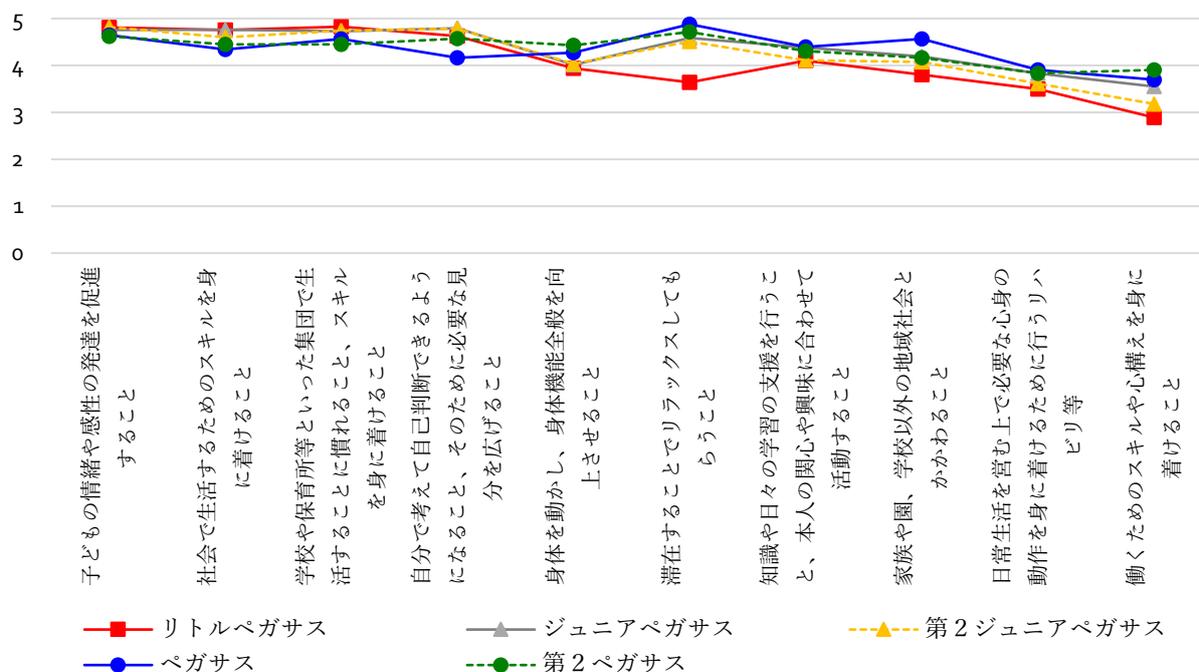


2. 事業所を利用する中で重視していること

いずれの事業所においても、「子どもの情緒や感性の発達を促進すること」「社会で生活するためのスキルを身に着けること」「学校や保育所等といった集団で生活することに慣れること」の項目が特に重視されていることがわかりました。

放課後等デイサービス事業所では、「滞在することでリラックスしてもらうこと」もとても重視されており、リラックスできる居場所として放課後や休日にご利用したいと考えられていることがわかりました。特にペガサスでは、「リラックスしてもらうこと」を重要とされた方の割合が他事業所よりも高く、併せて「学校や園、学校以外の地域社会とかかわること」を重視する度合いも他の事業所よりも高い結果となりました。一方、児童発達支援センターであるリトルペガサスは、「子どもの発達の促進」「社会生活や集団生活へのスキルを身に着ける」等の療育としての目的が重要視されていました。

それぞれの事業所で求められるニーズがあるため、ニーズにお応えできる活動や取り組みを検討・実行していきたいと思えます。



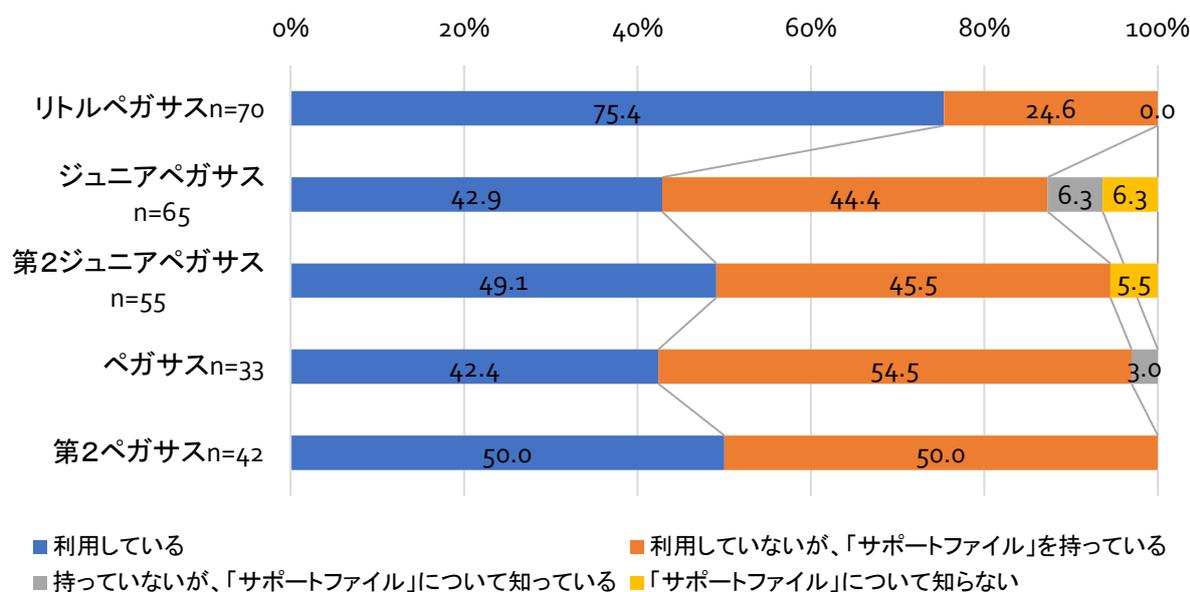
3. サポートファイル

(1) サポートファイルの利用

柏市では、障がいのあるお子さんや発達支援に配慮を必要とするお子さんを対象として「サポートファイル」の普及に取り組んでいます。サポートファイルは、お子さんの大切な成長の記録や医療・福祉サービスの利用に関する情報等をまとめて整理することができます。ファイルにお子さんの成長の記録や情報をまとめておくことで、お子さんの成長に伴い教育、医療、福祉の支援者が変わる際に、スムーズな引継ぎや情報伝達に役立つことを目指しています。しかし、この

取組みはスタートして 10 年以上が経ちましたが、まだまだ十分に利用されているとは言えません。

そこで、青葉会ではサポートファイルの利用に積極的に取り組む法人として、①個別支援計画の作成・提供は、2021 年度後期個別支援計画からサポートファイルの利用推進の一環として取り組むこと、②面談時にサポートファイルを持参してもらい、個別支援計画をサポートファイルに綴っていただくこと、③職員とご家族の意識の乖離を埋めるため、毎年サポートファイルに関する意識調査の実施に実施に取り組んでいます。



今回の結果は、早くから取り組んでいたリトルペガサスを除き、放課後等デイサービス 4 事業所は 2021 年度後期にスタートさせたサポートファイル推進の取組みから約 2 年半が経ってのものとなります。

リトルペガサスでは、「利用している」と回答された方が昨年度の 87.5%から今年度は 75.4%に減り、「利用していないがサポートファイルを持っている」と回答された方が昨年度 12.5%から今年度 24.6%に増えました。昨年度に引き続き「持っていない」や「知らない」と回答された方はいませんでした。ご家族にきちんと認知されていると言えます。しかしながら、「利用している」と回答した方の割合が減っているため、サポートファイルの継続的かつ有効な利用に繋がるよう職員も一緒に取り組んでいきたいと思えます。

リトルペガサスの卒室児を受け入れているジュニアペガサスでは、「利用している」と回答された方は昨年度からやや減少し 42.9%、「利用していないが持っている」と回答された方も加えると、約 8 割のご家族に認知されていました。一方、「持っていないが、知っている」とした方が 6.3%いらっしゃいました。また、ジュニアペガサスと同様にリトルペガサス卒室児を受け入れている第2ジュニアペガサスでは、「利用している」方は 49.1%、「利用していないが、持っている」とした方は 45.4%、「持っていない」方はいませんでした。ジュニアペガサス、第2ジュニアペガサスでは、事業所を利用している皆様をサポートファイルを持参していただくとともに、個別面談等をおしてサポートファイルを利用する場面を引き続き積極的に作っていきたく考えています。

リトルペガサスの卒室児が少なく、特別支援学校の中学部や高等部の利用者もいるペガサス、第2ペガサスは、ほぼ全員の方が「利用している」か「利用していないが持っている」と回答されていました。「サポートファイルを利用している」と回答された方は昨年度よりも増え、ペガサス42.4%（昨年度30.3%）、第2ペガサス50.0%（昨年度41.5%）でした。引き続き、個別面談の際に持参していただくことで、職員も一緒にファイルの内容を確認しながら、個別支援計画を綴るとともに記入や更新のお手伝いをしていきます。

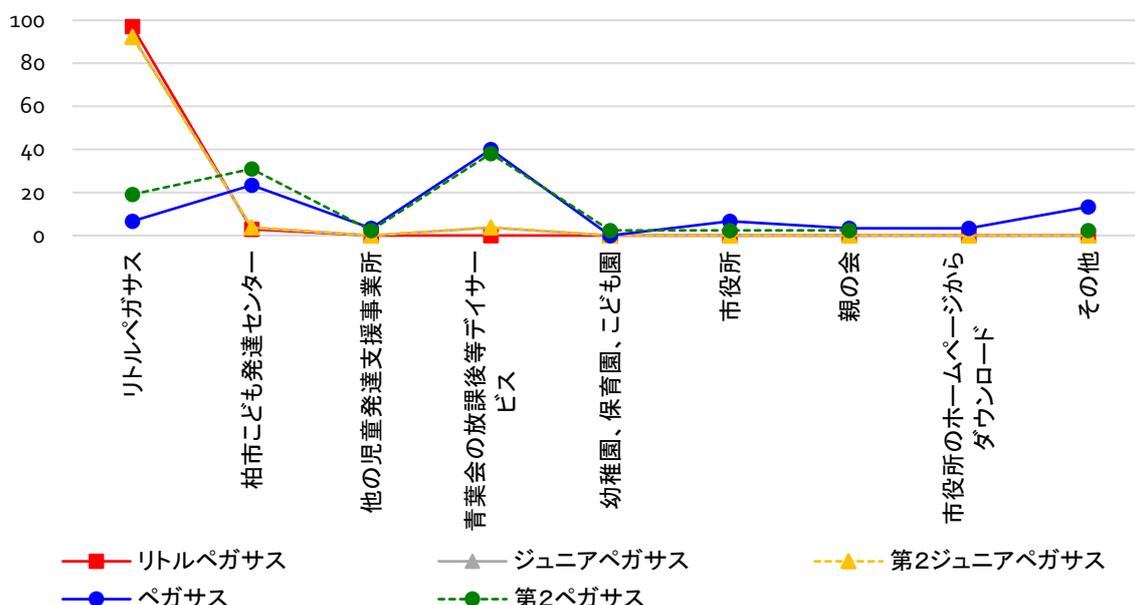
今回の調査から、昨年度同様、各事業所を利用いただいている皆様にサポートファイルが浸透してきていますが、「どのように利用していくか」を職員も意識し、引き続きサポートファイルの取り組みを進めていきます。

（2）サポートファイルを最初にもらったところ

サポートファイルを最初にリトルペガサスからもらったと回答されたのは、リトルペガサス97.1%、リトルペガサス卒室児が多いジュニアペガサス92.7%、第2ジュニアペガサス92.3%でした。リトルペガサスの卒室児の多くがリトルペガサスでもらったサポートファイルを就学後も継続して利用していることがわかりました。リトルペガサスでは、入室資料としてサポートファイルを配布しており、この取り組みが多くの方の所持に繋がっていると考えられます。

ペガサス、第2ペガサスについては、最初にもらったところとして最も多かった回答は「青葉会の放課後等デイサービス」であり、ペガサス40.0%、第2ペガサス38.1%でした。柏市こども発達センターで最初に受け取ったと回答した方もやや多く、ペガサス23.3%、第2ペガサス31.0%であり、就学前に柏市こども発達センターを利用していた方がリトルペガサスを含む他の事業所よりも多かったと考えられます。

いずれの事業所においても「他の児童発達支援事業所」や「市役所」と回答した方は非常に少なく、青葉会内の事業所を利用することでサポートファイルを所持するきっかけとなった方が多いことがわかります。青葉会の児童関連事業所を利用されている方のサポートファイル所持率はほぼ100%になっているため、今後は所持から活用へと継続的な取り組みを行っていきます。

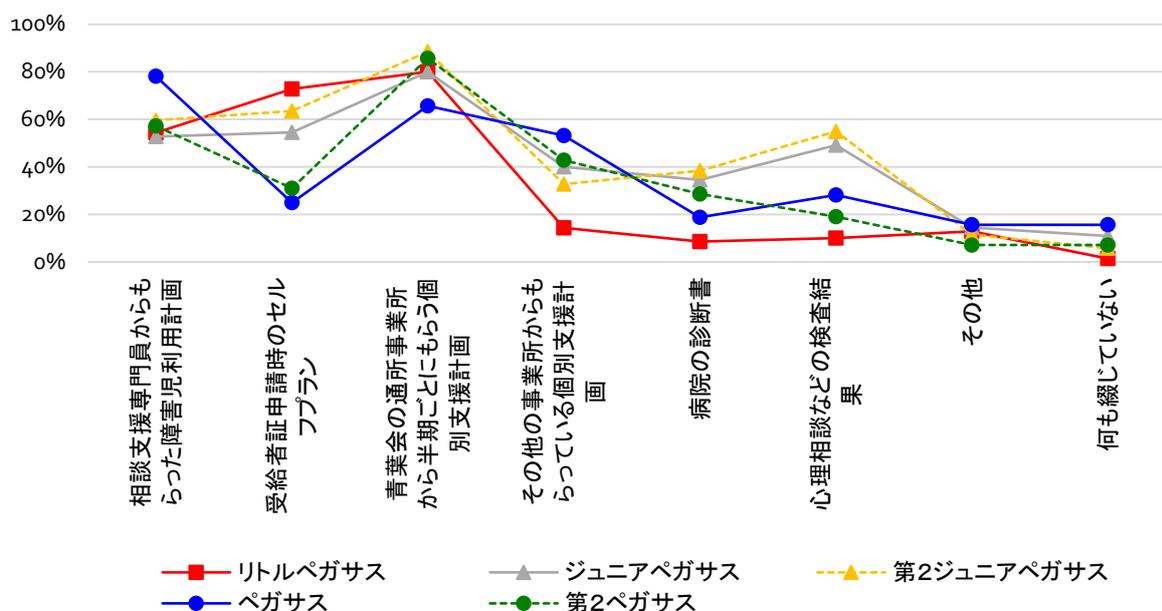


(3) サポートファイルに綴じているもの

リトルペガサス、ジュニアペガサス、第2ジュニアペガサスでは、サポートファイルに綴じているもので最も多かったのは「青葉会の通所事業所から半期ごとにもらう個別支援計画」でした。しかし、いずれの事業所も「個別支援計画をサポートファイルに綴られている」方は全員ではなく、多い順番に第2ジュニアペガサス 88%、第2ペガサス 86%（昨年 68%）、ジュニアペガサス 80%、リトルペガサス 80%、ペガサス 66%（昨年 59%）でした。第2ペガサスとペガサスは、昨年度よりも個別支援計画をサポートファイルに綴じている方の割合が増えましたが、いずれの事業所も「個別支援計画が綴られていない」方がいらっしゃる状況でした。

また、相談支援専門員が作成する「障害児支援利用計画」を綴じている方はペガサス 78%、「セルププラン」を綴じている方はリトルペガサス 73%が最も多い回答でしたが、こちらも綴じている方はまだ全員ではありません。

「何も綴じていない」と回答された方もまだ一定数いらっしゃることから、サポートファイルについて事業所の取組みや説明をより丁寧にしていく必要があると考えられます。まずは、面談の際にファイルを持参していただき、個別支援計画と一緒に綴じることから取り組んでいきます。



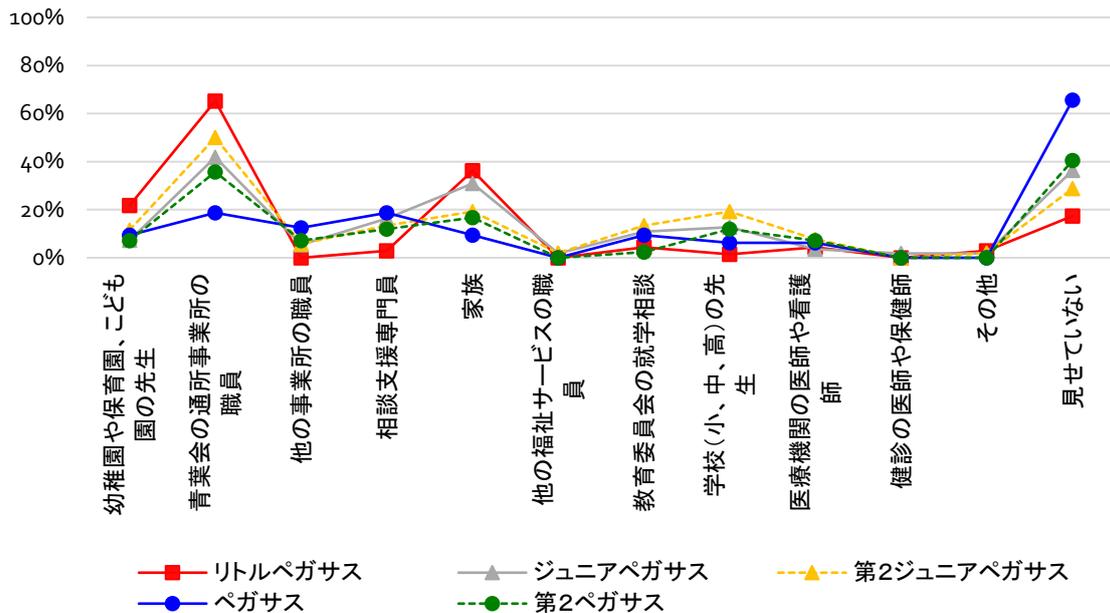
(4) サポートファイルを見せた人

ここでは「サポートファイルを見せているかどうか」について質問をしました。青葉会では、サポートファイルを面談時に持参していただき、その都度保護者の方と一緒に内容を確認することでファイルの利用を推進してきました。しかしながら、サポートファイルをご家族や関連機関等に見せている方は少なく、比較的多い回答でも「青葉会の通所事業所の職員」に見せているとしたリトルペガサス 65%、第2ジュニアペガサス 50%という結果でした。その他の事業所については、その割合は半数に満たず昨年度同様今年度もまだ低位にあります。

「ご家族」や、「園の先生」、「学校の先生」にファイルを見せた方も少なく、「(どなたにも) 見せていない」と回答した方は、多い順番にペガサス 66%、第2ペガサス 40%、ジュニアペガサス

36%、第2ジュニアペガサス 29%、リトルペガサス 17%でした。関係機関同士がご家族を交えて情報共有しておくことでお子さんの育ちを支えていければと思います。

サポートファイルを作成していくことの目的や将来への繋がりを改めて職員も意識し、個別面談やモニタリング、保護者会などの機会を利用して、より有効的にサポートファイルが活用出来るよう、引き続き取り組みを進めていきます。併せて、「園や保育園」「学校」等、地域で一緒にお子さんを支えていく関連機関の方にもサポートファイルについて周知を図っていく取り組みも推進していきます。

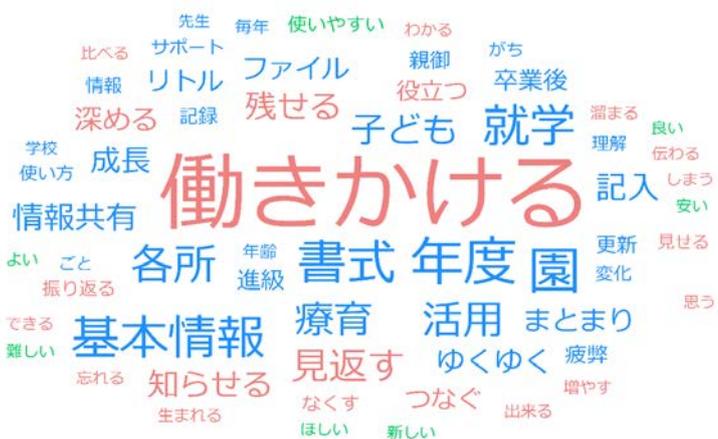


(5) サポートファイルについての使い勝手や期待すること

いただいた自由記述の回答は、「AIテキストマイニング by ユーザーローカル」を使用してテキストマイニング解析を行いました。よく出現する単語ほど重視してスコアが高いと評価し、出現頻度が高くスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと中心から図示されています。また、単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く位置しています（以下、自由記述は、同じ解析を用いました。）。

① リトルペガサス

23名の方が回答を記入してくださいました（回答率 32.9%）。「サポートファイルについての使い勝手や期待すること」として、リトルペガサスでは「働きかける」のスコアが特に高く、次いで「基本情報」「就学」「年度」「書式」「園」「各所」のスコアが高く出ました。



4. 青葉会の事業所以外の活動

(1) 利用されている事業所以外の他の活動

青葉会の事業所以外に利用されている活動について伺いました。リトルペガサスでは、「利用していない」方が最も多く 52%、「他の児童発達支援」を利用されている方は 9%、「習い事」21%、「保育所等訪問支援」13%でした。

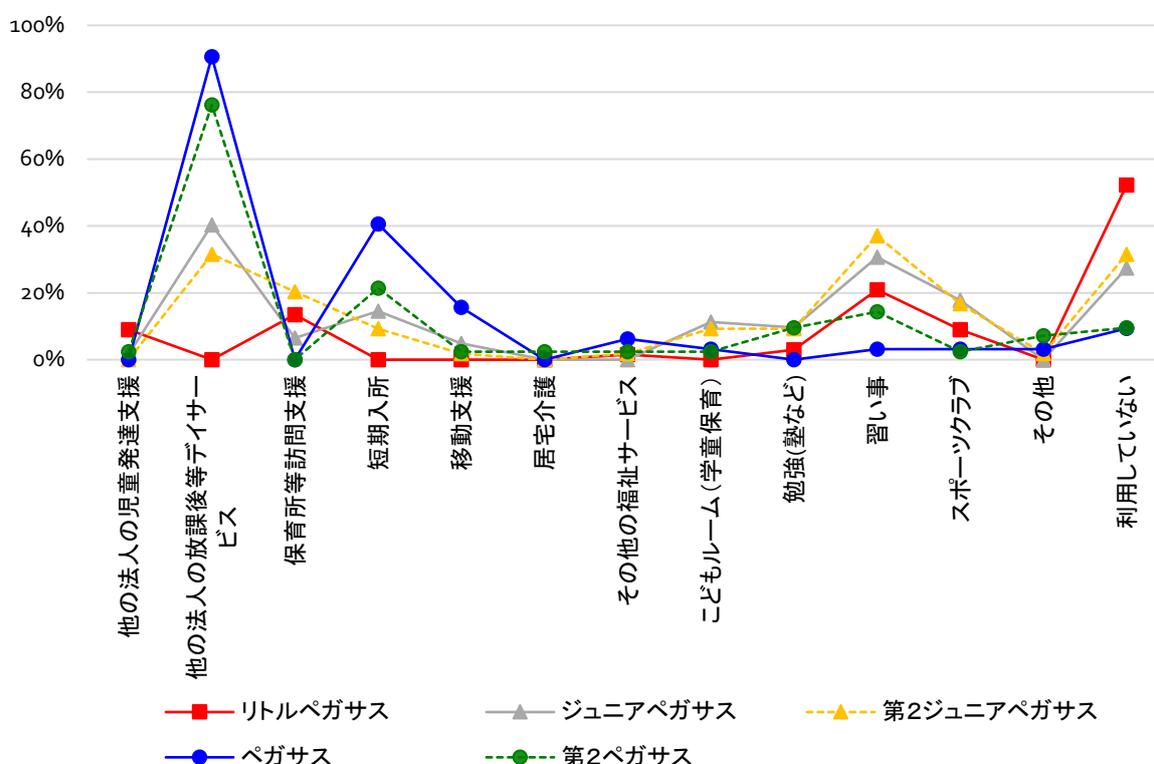
ジュニアペガサスでは、「他法人の放デイ」40%、「習い事」31%、「スポーツクラブ」18%、「こどもルーム」11%、「保育所等訪問支援」6%併用しており、「他の利用なし」の方は 27%でした。

第2ジュニアペガサスでは、「他法人の放デイ」31%、「習い事」37%、「スポーツクラブ」17%併用しており、一年生の利用者が多いこともあり「他の利用なし」の方は 31%と多くいらっしゃいました。「保育所等訪問支援」は 20%でした。

ペガサスでは、「他法人の放デイ」91%、「短期入所」41%、「移動支援」16%と福祉サービスの利用者が一定数いらっしゃいました。「他の利用なし」は少なく 9%でした。

第2ペガサスでは、「他法人の放デイ」76%、「短期入所」21%と福祉サービスの利用者が一定数いらっしゃいました。「他の利用なし」は 10%でした。

小学生を対象とするジュニアペガサス・第2ジュニアペガサスと特別支援学校が多く高等部の子どもたちも利用するペガサス・第2ペガサスでは、利用している福祉サービスの内容に違いがあることがわかりました。

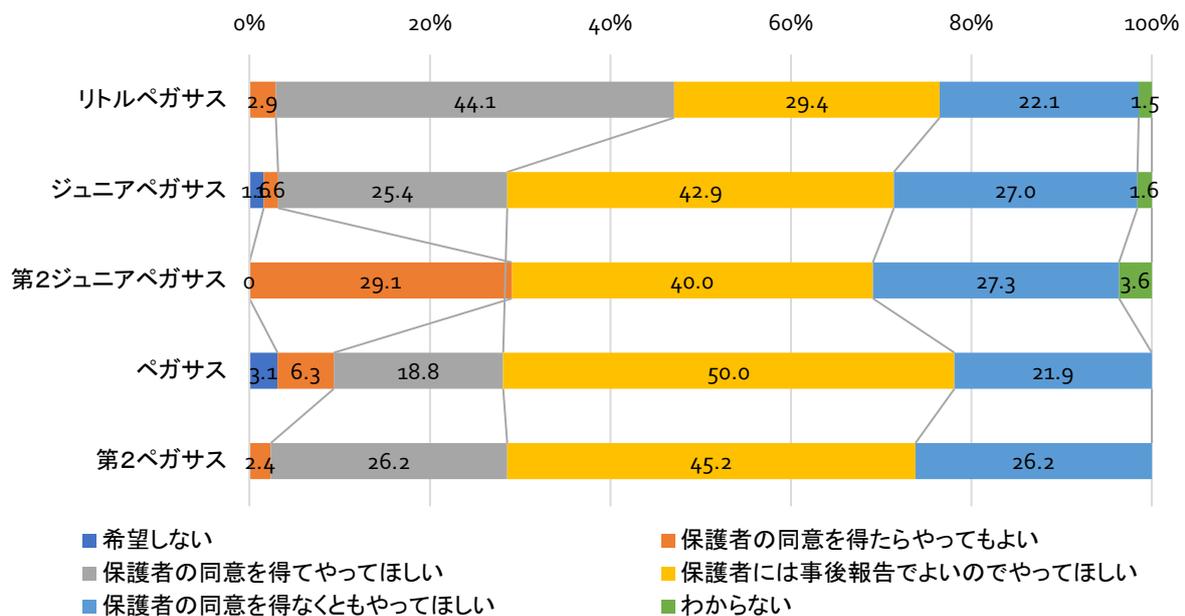


(2) こどもの情報共有

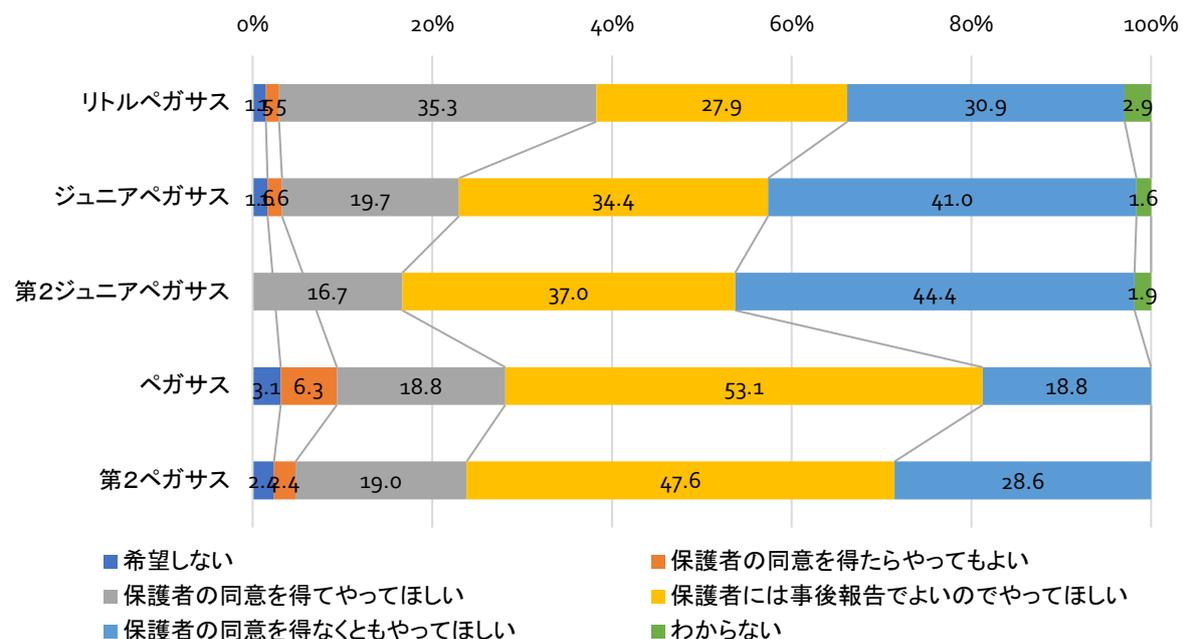
「園や学校とのこどもの情報共有」、「事業所間でのこどもの情報の共有」のいずれも「希望しない」とする回答は非常に少なく、ご家族は関係機関との有効な情報共有を望まれていると考えられました。

事業所によって保護者との同意の方法についての意見は異なりましたが、個人情報の重要性を職員一同しっかりと認識し、一人ひとりの利用者のより良い支援に繋がるよう、ご家族にご説明をしながら丁寧に関係機関と連携していきます。

① 園や学校とのこどもの情報共有



② 事業所間でのこどもの情報共有

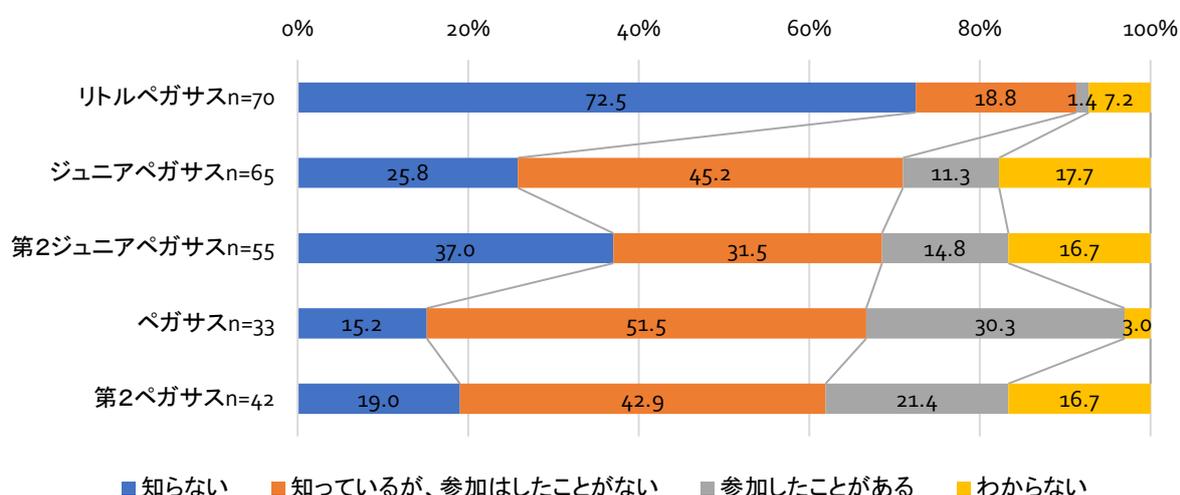


5. 青葉会の児童グループ、法人主催の研修や催しへの参加や周知について

(1) 児童グループの公開事例検討会

児童グループの公開事例検討会では、ご家族や事業所職員の方向けの研修や意見交換会を行っています。今年度は7月に第1回公開事例検討会として、SECの木野麗子先生を講師にお招きし、「こんな時、どうしてる？ 性について考えてみよう ～中高生向け～」という思春期の性をテーマにご家族や事業所職員の方向けの研修を行いました。

しかしながら、参加や周知は十分ではなく、「知らない」と回答した方は多い順に、リトルペガサス 72.5%、第2ジュニアペガサス 37.0%、ジュニアペガサス 25.8%、第2ペガサス 15.2%、ペガサス 19.0%でした。いずれの事業所も参加したことがない方が殆どという状況でした。ご家族の方にとって有用となる研修会を企画していますので、まずは周知から丁寧に行っていく必要があります。

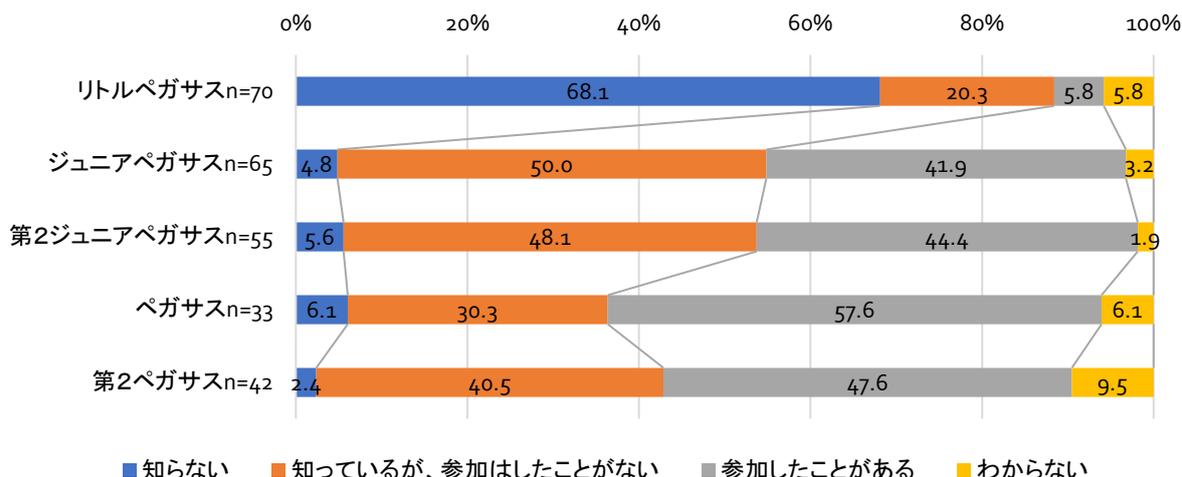


(2) 児童グループの夕涼み会

児童グループの夕涼み会は、青葉会の児童部門 5 事業所が主催する夏祭りです。ゲームや軽食の出店や音楽隊によるステージ、お神輿などをご家族と事業所職員と一緒に地域で楽しむお祭りです。

夕涼み会に「参加したことがある」と回答した方は、ペガサス 57.6%、第2ペガサス 47.6%、第2ジュニアペガサス 44.4%、ジュニアペガサス 41.9%でした。放課後等デイサービス 4 事業所は 4 割以上の方が参加したことがあるとの回答でした。

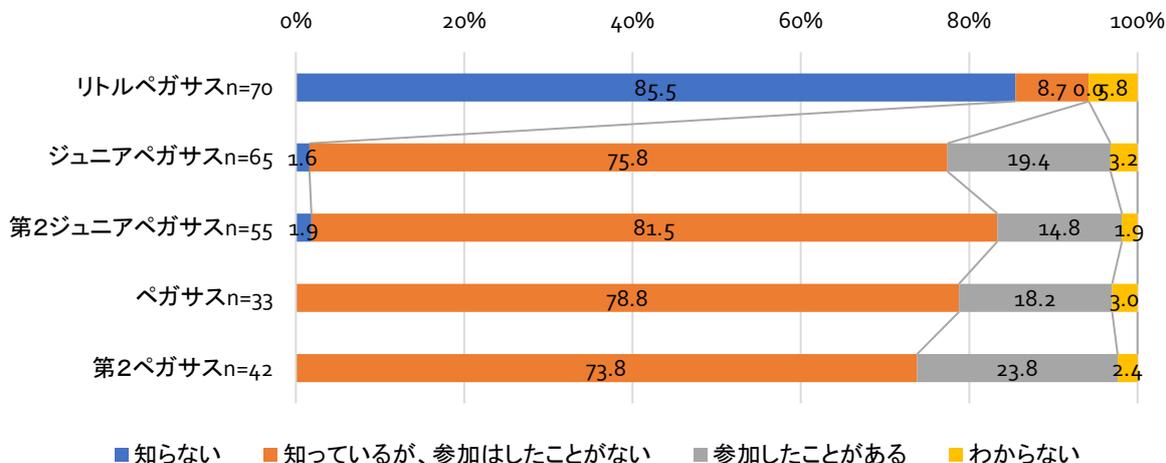
しかしながら、リトルペガサスでは「知らない」が 68.1%であり、「参加したことがある」は 5.8%に留まりました。学齢期のお子さんの様子や事業所職員の雰囲気を知る機会にもありますので、まずはご家族に向けての周知をしっかりと図っていきたいと思います。



(3) 短期入所のキッズナイト

短期入所のキッズナイトは、放課後等デイサービス 4 事業所で開催される短期入所を利用した宿泊の活動です。

児童発達支援事業所であるリトルペガサスは「知らない」という回答が大半ですが、放課後等デイサービス 4 事業所では、いずれの事業所においても約 7 割以上の方が「知っているが、参加したことはない」と回答し、約 2 割の方が「参加したことがある」と回答しています。キッズナイトの活動は、多くの方が知っている活動になっていると考えられます。

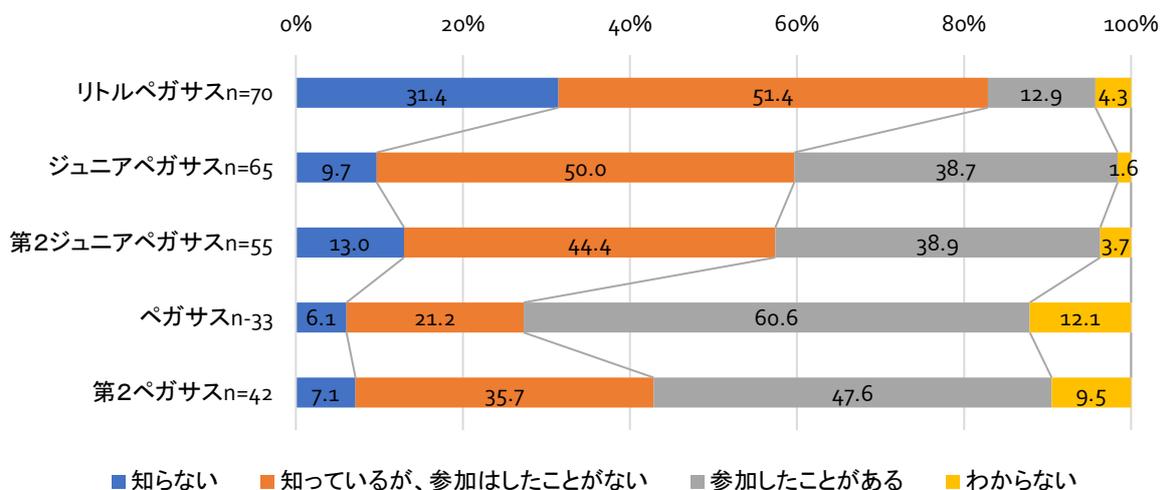


(4) 青葉祭

青葉祭は、青葉会の法人全体で開催する地域に開かれた WITH US の敷地で行うお祭りです。青葉会の事業所紹介やダンス・音楽パフォーマンス、焼きそばやフランクフルト等の飲食店、法人事業所が育てた野菜の直売等、さまざまな出店もあります。青葉会をご利用されている皆様、そして地域の皆様と一緒に楽しむお祭りです。

青葉祭については、「知らない」と回答した方はリトルペガサス 31.4%、第2ジュニアペガサス 13.0%でやや多い結果となりました。一方、「参加したことがある」と回答した方は、ペガサスで最も多く 60.6%、第2ペガサス 47.6%、第2ジュニアペガサス 38.9%、ジュニアペガサス 38.7%、

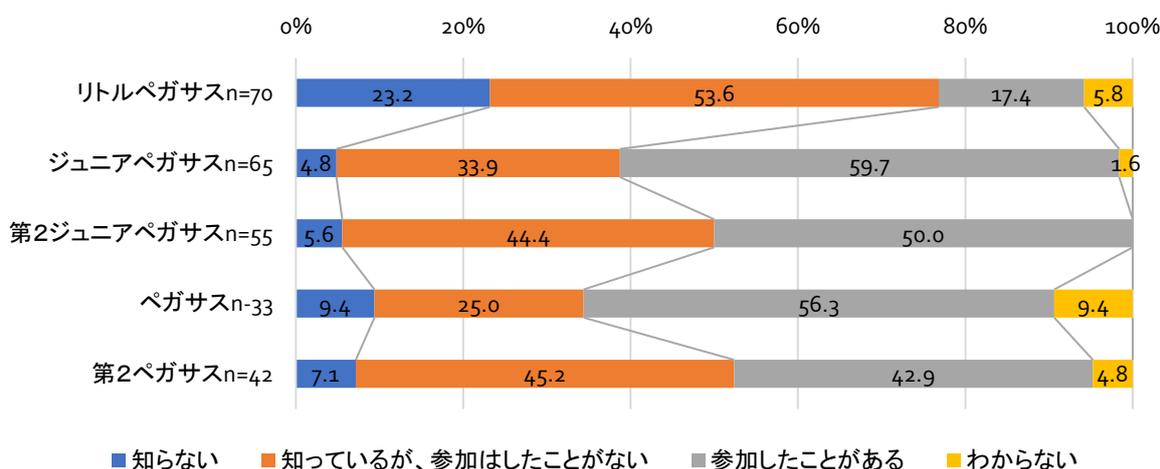
リトルペガサス 12.9%でした。ペガサスと第2ペガサスでは半数以上の方が参加したことがあるという結果でした。



(5) ふれあいフェスタ

ふれあいフェスタは、柏市松葉町を中心に地域みんなの交流の場として開催しています。ふれあいフェスタでは、国連が制定した「世界自閉症啓発デー」の一環として、市民の方へ自閉症に対する正しい理解をしていただきたいと、毎年地域の障がい者団体の協力のもと青葉会も地域の一人として活動しています。

ふれあいフェスタは、「参加したことがある」と回答した方がジュニアペガサス 59.7%、ペガサス 56.3%、第2ジュニアペガサス 50.0%、第2ペガサス 42.9%、リトルペガサス 17.4%でした。放課後等デイサービス事業所では、4割以上の方が参加したことがあるという回答でした。

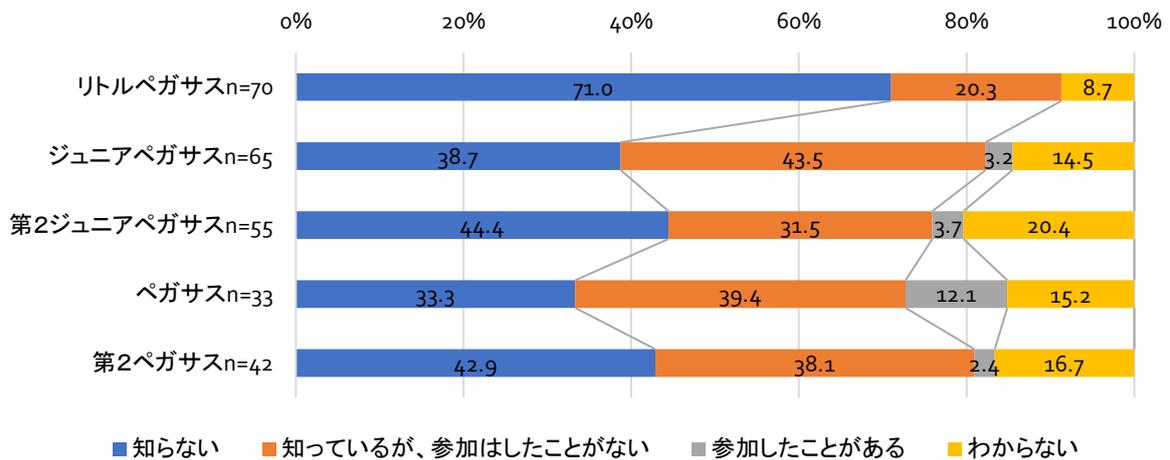


(6) 発達障害サポーター研修会（通称：サポ研）

発達障害サポーター研修会は、発達障害のある人への正しい理解啓発促進と関係者・支援者間のネットワークづくりを目的とした研修会です。研修会では、さまざまな講師の先生方をお招きし、発達障害のある方の支援を一緒に学んでいます。また、事業所職員の方も参加しやすいよう、基本的には偶数月第3金曜日 19時から開始となっている夜間の研修会です。

リトルペガサスでは、「知らない」と回答した方が 71.0%、「参加したことがある」と答えた方はいませんでした。放課後等デイサービス 4 事業所では、いずれの事業所も「知らない」と回答した方が約 4 割程度、「参加したことがある」と回答した方はジュニアペガサス 3.2%、第 2 ジュニアペガサス 3.7%、ペガサス 12.1%、第 2 ペガサス 2.4%でした。

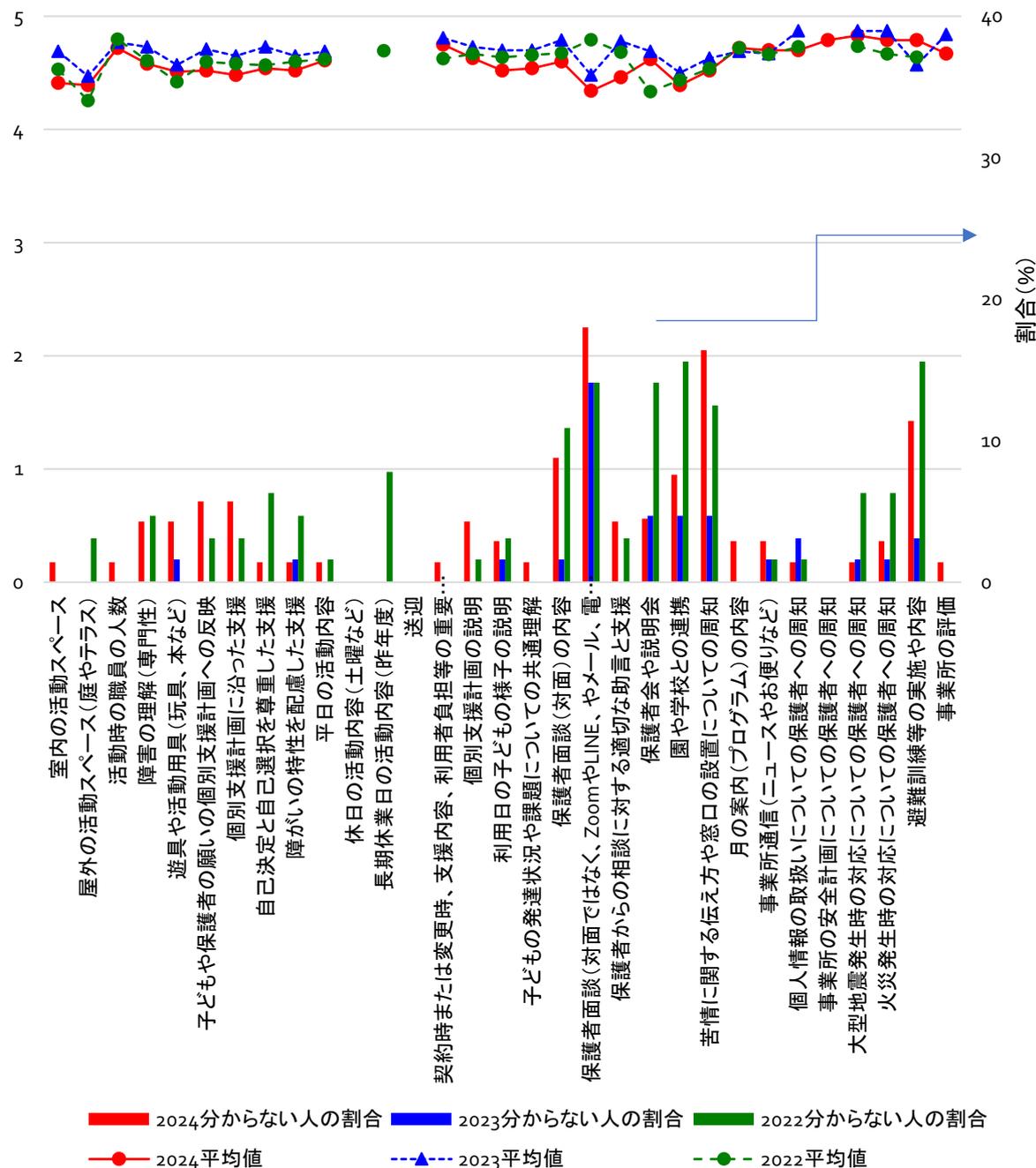
ご家族の皆さんには参加しづらい時間帯での開催ですが、研修テーマは就学前～青年期までを含む多岐にわたります。まずは、研修会のご案内をとおして、皆さんに研修会を知っていただく機会を作っていきたいと思います。



青葉会では法人全体で、研修会や地域でのお祭り等、さまざまなイベントを企画・実施しています。今回のアンケート調査をとおし、まだまだご家族の皆様への周知が十分ではなく、企画をご存じない方が多くいらっしゃるのことがわかりました。今後は法人職員全体で、企画の周知方法や周知の時期等、多くの方に知っていただき、足を運んでいただく機会に繋がるような取り組みを行っていきたく考えています。

6. リトルペガサス

I 今年度の活動



日頃から児童発達支援センター リトルペガサスの活動にご理解とご協力ありがとうございます。利用されていらっしゃる全ての方からご意見・感想をいただきたいという「回収率100%を目指します！」の声掛けにご協力いただき、配布数に対して全員のお声をいただけた結果になっています。お忙しい中、ご回答にご協力いただきありがとうございました。共通項目では5点

満点で平均値が「やや満足」の点数である 4 点を下回ることがなく全体的に高評価をいただきました。

ここでは、比較的満足度が高くなかった項目、「(項目の意味が) わからない」とする回答が多かった項目を中心にコメントさせていただきます。

(1) 保護者面談について

今年度から利用を開始された方もいらっしゃいますので、この項目は「わからない」と回答された方が最も多い項目となり(18.0%)、かつ満足度も少し低位となりました。昨年度までは、新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置として、面談は Zoom など対面以外の方法でも行える事をご案内して参りました。しかし今年度は、前期の個別支援計画のお渡しの際から、保護者の皆様と職員が顔を合わせ対面での面談を行う事が出来ました。母子育成保育教室に通っている方は、常日頃、対面でお話しさせていただいていますが、活動時間以外での面談を希望して下さる保護者の方も多かったと思います。今年度は対面での面談を基本とさせていただいていますが、個別支援計画以外にも様々な形で面談の機会が持てる事や面談方法も選択していただけることを保護者の方々にもっと知っていただけるよう、ご案内の仕方を工夫していきます。別質問で個別面談についての項目にもご回答いただいておりますが、活動の内容やお子さんへの支援について、ご家庭でのお困り事、併用園での事等どんな些細な事でもご相談下さい。

(2) 苦情に対する対応

この項目も、「わからない」とされた方が多くなった項目です(16.4%)。苦情につながる悩みなどがなければこの項目はピンとこない設問となってしまいます。しかし、苦情はご家族とリトルペガサスをつなぐ重要なやり取りの一つです。リトルペガサスでも、「苦情相談」は、入室の際にお渡しさせていただいているリトルペガサスのしおり(重要事項説明書)に記載させていただいております。事業所に、ご家族やお子様からの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族のご要望、苦情等があれば、ご家族、お子様の立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

窓口の担当職員だけでなく児童発達支援管理責任者や施設長にいつでも何でもご相談ください。

(3) 避難訓練等の実施

避難訓練等の実施を「わからない」とされた方は 11.4%いらっしゃいました。一方、「安全計画」の質問項目は「わからない」とする回答はございませんでした。同じく重要な取組みとなりますので全ての方に完全に知っていただきたい項目です。青葉会では年 2 回、法人全体で行う避難訓練と各事業所で行う避難訓練があります。今年度の法人全体の避難訓練は、9 月に実施させていただきました。らくらく連絡網への返信等、ご協力ありがとうございました。

避難訓練の際は、母子育成保育教室・母子分離育成保育教室ともに、クラスに合わせて防災頭巾を被ってみる、部屋の中心に集ってみる等の目的を持って訓練を実施しています。

また、母子分離育成保育教室の皆様へは、日々の連絡帳や“すなっぷだより”等を通して子ども達の避難訓練参加の様子をお知らせしています。

今年度も6月に開催した保護者会にて、皆さんとリトルペガサス活動時に大地震が起きたらどのように避難するのか、また公益避難所等のご家族への周知について再度の確認をさせていただきました。また今年度から、個別支援計画と一緒に安全計画もお渡しさせていただきます。今後も定期的な避難訓練の実施や自然災害等の非常時の対応の確認をしてまいりますのでご協力お願い致します。

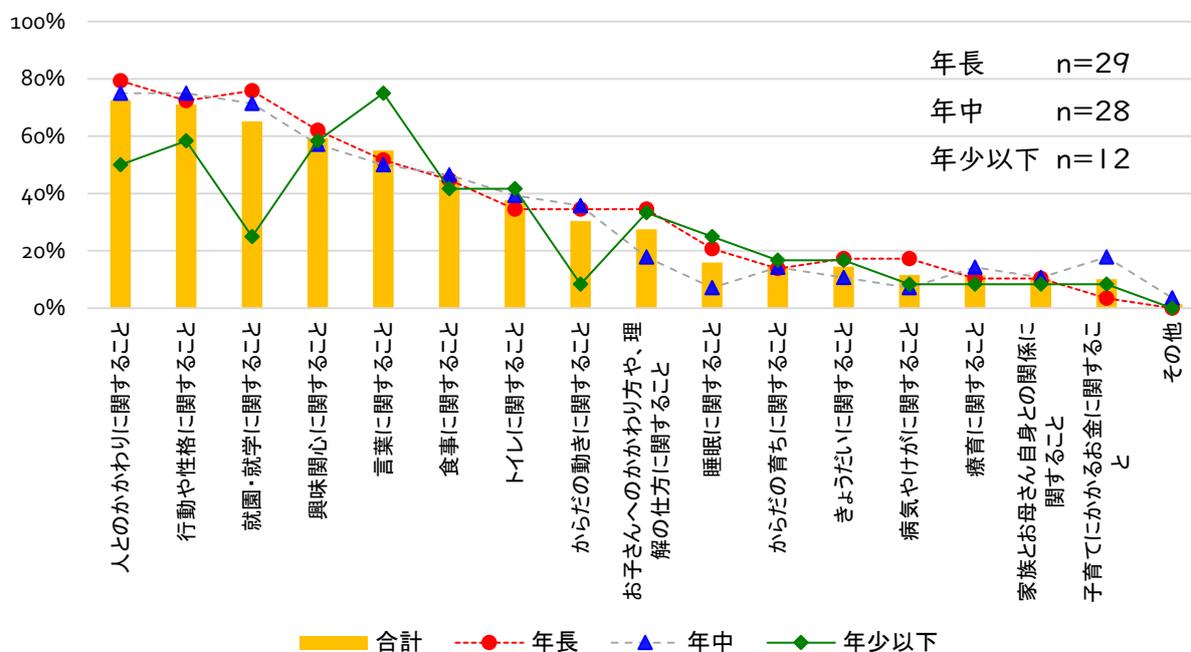
Ⅱ 子育てで困っていることなど

1. 子育てで困っていること

「今、子育てで困っていること」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、年長の方では「人とのかかわりに関すること」(79.3%)、「就園・就学に関すること」(75.9%)、「行動や性格に関すること」(72.4%)、「興味関心に関すること」(62.1%)、「言葉に関すること」(51.7%)、「食事に関すること」(44.8%)でした。

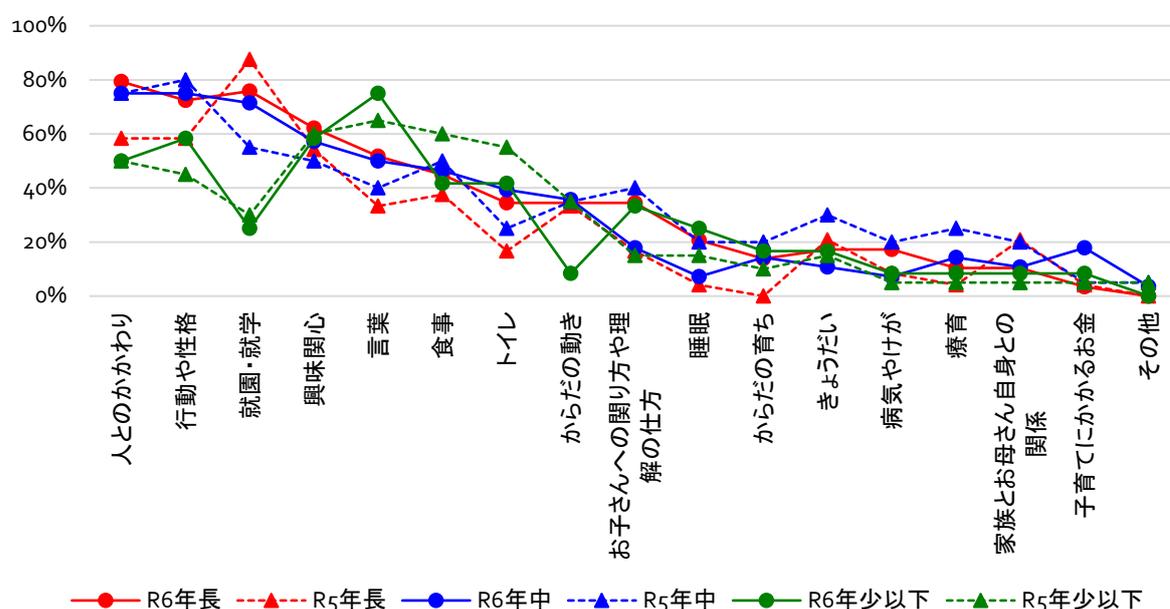
年中の方では、「人とのかかわりに関すること」(75.0%)、「行動や性格に関すること」(75.0%)、「就園・就学に関すること」(71.4%)、「興味関心に関すること」(57.1%)、「言葉に関すること」(50.0%)、「食事に関すること」(46.4%)、「トイレに関すること」(39.3%)、「からだの動きに関すること」(35.7%)でした。

年少以下の方では、「言葉に関すること」(75.0%)、「行動や性格に関すること」(58.3%)、「興味関心に関すること」(58.3%)、「人とのかかわりに関すること」(50.0%)、「食事に関すること」(41.7%)、「トイレに関すること」(41.7%)、「お子さんへのかかわり方や、理解の仕方に関すること」(33.3%)でした。



昨年度に実施した保護者アンケート調査の結果と比較してみると、年長、年中、年少以下の子育ての困り感の傾向は令和5年と令和6年で共通するところが多いものの、困り感のある方の割合は年齢に関わらず昨年度の方が多くなりました。

どの年齢においても、「人との関りに関すること」「行動や特性に関すること」「興味関心に関すること」「言葉に関すること」「食事に関すること」については、4割以上の方が困っていることとして選択していました。ご家族にとっての困り感の大きさは、お子さんの障がい特性からくる課題に対する意識の高さともとらえさせていただいています。加えて、お母さんたちの課題に対する取組への関心の高さでもあると考えています。お子さんやご家庭の環境によって困り感の内容や質は異なります。私たちも、お母さんと一緒に、一人ひとりの育ちに丁寧に関わらせていただきます。



2. リトルペガサスでさらに充実してほしい支援や、新たに実施してほしい支援

「リトルペガサスでさらに充実してほしい支援や、新たに実施してほしい支援」について、支援を列記し、選択を尋ねたところ、お子さんの年齢に関わらず「気持ちのコントロールの支援」、「人との関り方への支援」、「ことばの理解・表現への支援」、「集団活動のルール理解への支援」は共通して40%前後のたくさんの方が選択されている一方で、年齢によって多様なニーズがあり、かつ有意な差があることがわかりました。

「一人ひとりの個別療育」とか「食事指導（偏食への支援含む）」、「本人のこだわりに対する支援」、「読み書き」、「トイレトレーニング」、「発達支援・心理相談」、「言語聴覚療法」といった個別プログラムは高い支持がある一方で、「母子同室での育成保育」や「母子分離での育成保育」といった教室を選択する方は限られました。このことは、集団療育に所属していても、一人ひとりのニーズに沿った個別の発達支援を希望される方が多数いらっしゃることを示唆しています。

「併用している保育園・幼稚園等との連携」や「保育所等の先生方への巡回支援」は年齢に関わらず 30%前後の方、さらに「働いている母親のために長時間育成保育の実施」も年齢に関わらず一定の方が選択されていました。

20%以上選択された回答で割合が高い順番に、年長の方では、「気持ちのコントロールの支援」(57.1%)、「人との関り方への支援」(50.0%)、「ことばの理解・表現への支援」(39.3%)、「集団活動のルール理解への支援」(32.1%)、「併用している保育園・幼稚園等との連携」(32.1%)、「本人のこだわりに対する支援」(28.6%)、「働いている母親のために長時間育成保育の実施」(28.6%)、「読み書き」(25.0%)、「保育所等の先生方への巡回支援」(25.0%)、「就学情報の提供」(21.4%)でした。

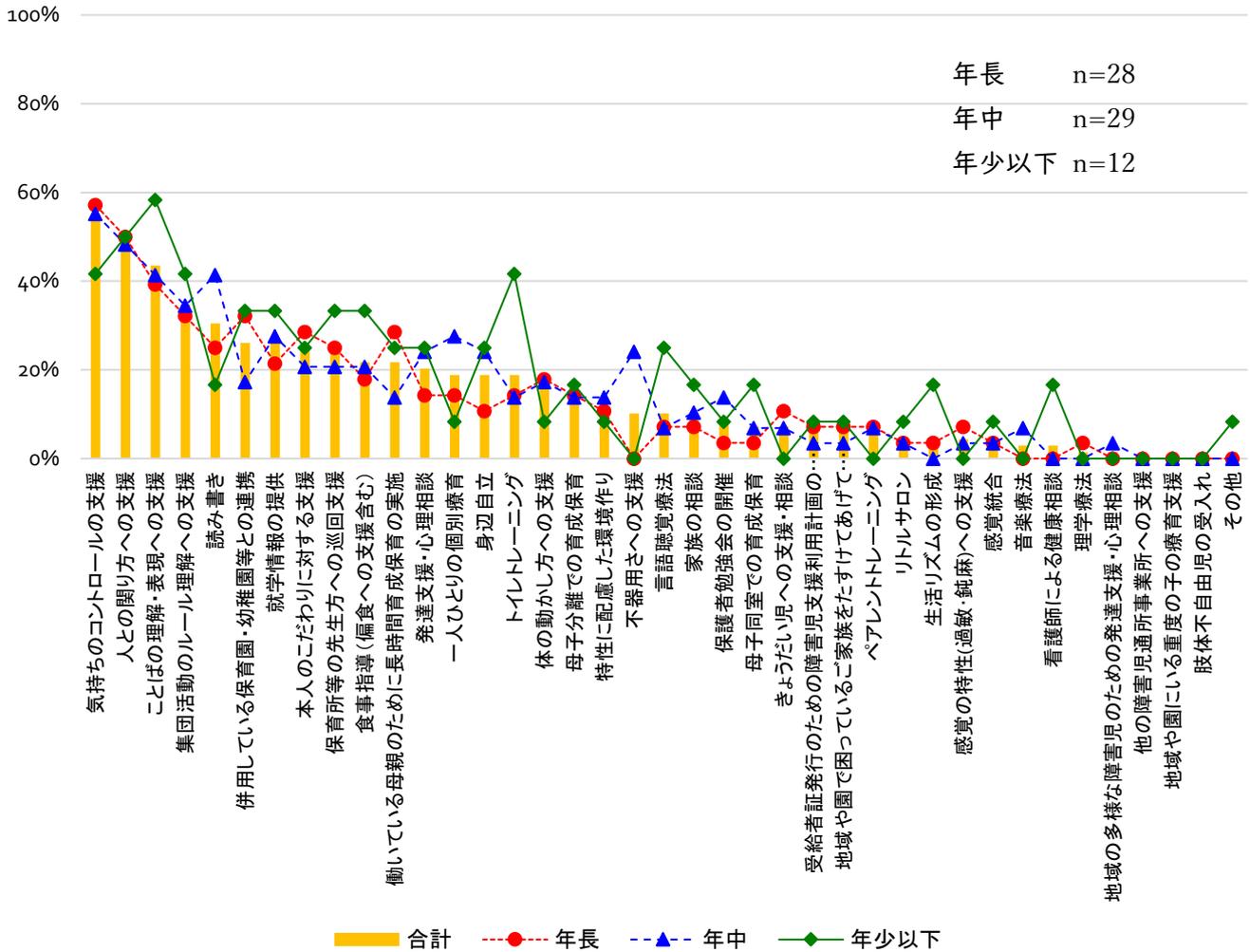
年中の方では、「気持ちのコントロールの支援」(55.2%)、「人との関り方への支援」(48.3%)、「ことばの理解・表現への支援」(41.4%)、「読み書き」(41.4%)、「集団活動のルール理解への支援」(34.5%)、「就学情報の提供」(27.6%)、「一人ひとりの個別療育」(27.6%)、「発達支援・心理相談」(24.1%)、「身辺自立」(24.1%)、「不器用さへの支援」(24.1%)でした。

年少以下の方では、「ことばの理解・表現への支援」(58.3%)、「人との関り方への支援」(50.0%)、「気持ちのコントロールの支援」(41.7%)、「集団活動のルール理解への支援」(41.7%)、「トイレトレーニング」(41.7%)、「併用している保育園・幼稚園等との連携」(33.3%)、「保育所等の先生方への巡回支援」(33.3%)、「就学情報の提供」(33.3%)、「食事指導（偏食への支援含む）」(33.3%)、「本人のこだわりに対する支援」(25.0%)、「働いている母親のために長時間育成保育の実施」(25.0%)、「発達支援・心理相談」(25.0%)、「身辺自立」(25.0%)、「言語聴覚療法」(25.0%)でした。

一方で、児童発達支援センターに対して国から充実が求められている「看護師による健康相談」、「地域の多様な障害児のための発達支援・心理相談」、「他の障害児通所事業所への支援」、「理学療法」、「地域や園にいる重度の子の療育支援」「肢体不自由児の受入れ」については、直接、個人の療育と関係しないためか、ご家族の関心は極めて低位でした。

ご家族からいただきましたニーズに応じて、リトルペガサスでは、次に取り組んでいきます。

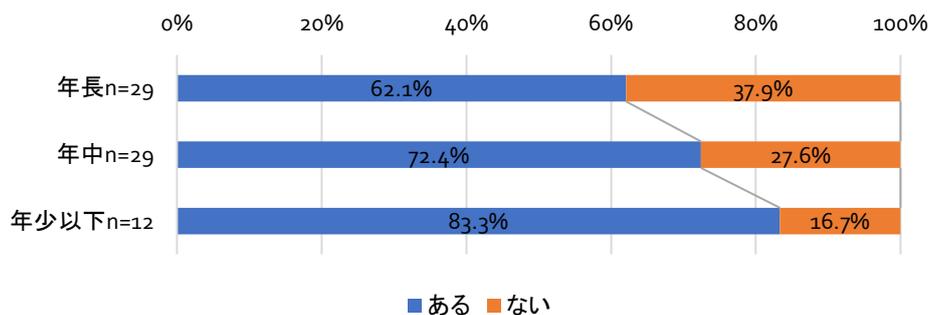
- ・ 母子通室、母子分離ともに、集団療育に加えて、特定の領域に対する重点的な支援として、保育士を中心とする専門的支援とともに、専門職による個別療育を提供していきます。
- ・ 働かれています方、仕事される方のため、療育が終わったあとの延長預かりや送迎にも取り組んでいきます。
- ・ 通われている保育所や幼稚園、こども園、障害児通所支援事業所、さらに卒室後は就学先の小学校へも訪問し、園等やご家庭と連携します。
- ・ ご希望により、障がい児支援利用計画の作成や、ご家族が作成されるセルフプランの作成をお手伝いします。
- ・ 療育以外にも、就学や就園、ごきょうだいのこと、将来のことなど、様々なご相談にお応えします。



Ⅲ. 個別相談について

1. 個別支援計画の説明以外で、リトルペガサスやリトルペガサス地域支援室の職員と個別面談をしたこと

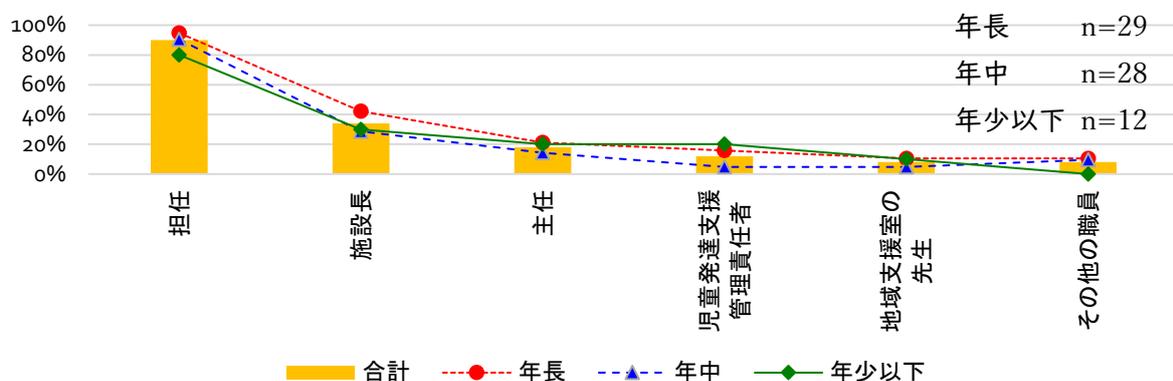
「個別支援計画の説明以外で、リトルペガサスやリトルペガサス地域支援室の職員と個別面談をしたことがあるか」尋ねたところ、「ある」方は年長の方 (62.1%)、年中の方 (72.4%)、年少以下の方 (83.3%) でした。ご家族の心配事に寄り添いながら、一緒にお子さんの育ちを支えていければと思います。職員から声をおかけしていきますので、宜しくお願いします。



2. 主に相談をした職員

「個別支援計画の説明以外で主に相談をした職員」について、例を列記し選択を尋ねたところ、子どもの年齢に関わらず選択された割合が高い順番に、「担任」(90%前後)、「施設長」(30%前後)、「主任」(20%前後)、「児童発達支援管理責任者」(15%前後)でした。

リトルペガサスの療育の責任者であり、個別支援計画の作成者は児童発達支援管理責任者が担当しています。担任はもちろんですが、児童発達支援管理責任者に、何でもご相談ください。



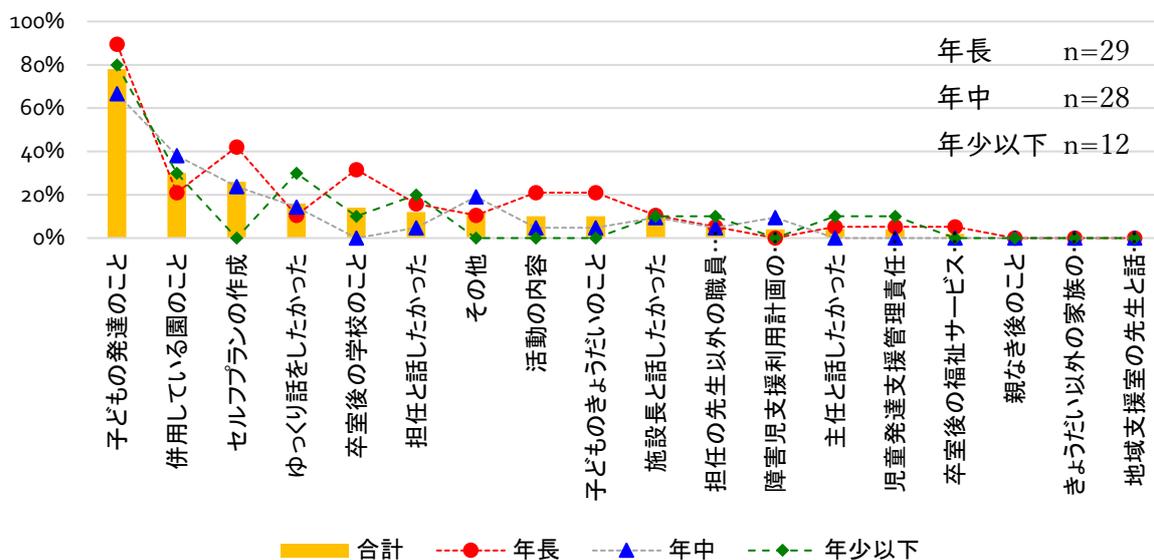
3. 相談をした内容や理由

「個別支援計画の説明以外で相談をした内容や理由」について、例を列記し選択を尋ねたところ、子どもの年齢に関わらず「子どもの発達のこと」が90%前後と共通して選択されました。

選択された割合が高い順番に、年長の方では、「子どもの発達のこと」(89.5%)、「セルフプランの作成」(42.1%)、「卒室後の学校のこと」(31.6%)、「活動の内容」(21.1%)、「子どものきょうだいのこと」(21.1%)、「併用している園のこと」(21.1%)でした。

年中の方では、「子どもの発達のこと」(66.7%)、「併用している園のこと」(38.1%)、「セルフプランの作成」(23.8%)でした。

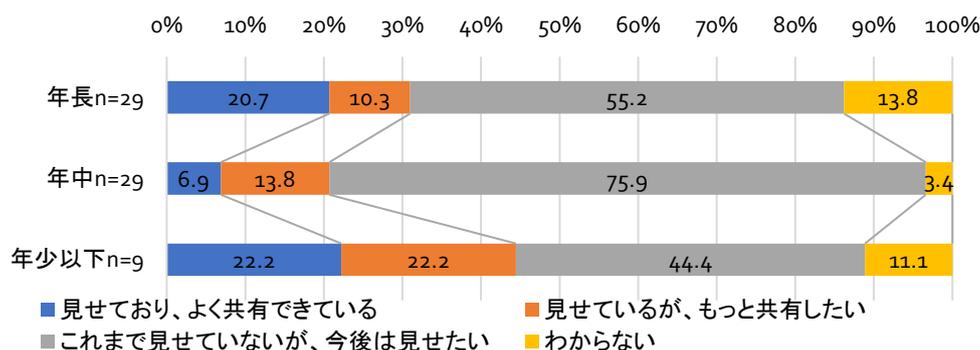
年少以下の方では、「子どもの発達のこと」(80.0%)、「併用している園のこと」(30.0%)、「ゆっくり話をしたかった」(30.0%)、「担任と話したかった」(20.0%)でした。



IV. 保育園、幼稚園、こども園に通われている方

1. 園にリトルペガサスの個別支援計画を見せているか

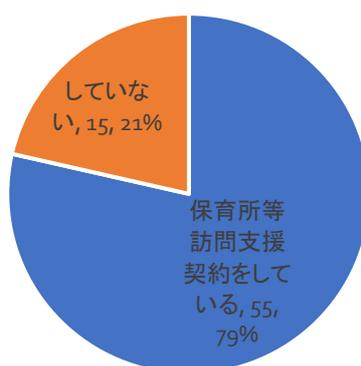
「園にリトルペガサスの個別支援計画を見せているか」について尋ねたところ、「見せている」方は年長（31.0%）、年中（20.7%）、年少以下（44.4%）と少なく、意外でした。一方で「今後は見せたい」方を含めると90%前後の方が「園に見せている」、「見せたい」としていることがわかりました。前述のサポートファイルの項でもコメントいたしましたが、関係機関同士がご家族を交えて情報共有してくことでお子さんの育ちを支えていければと思います。



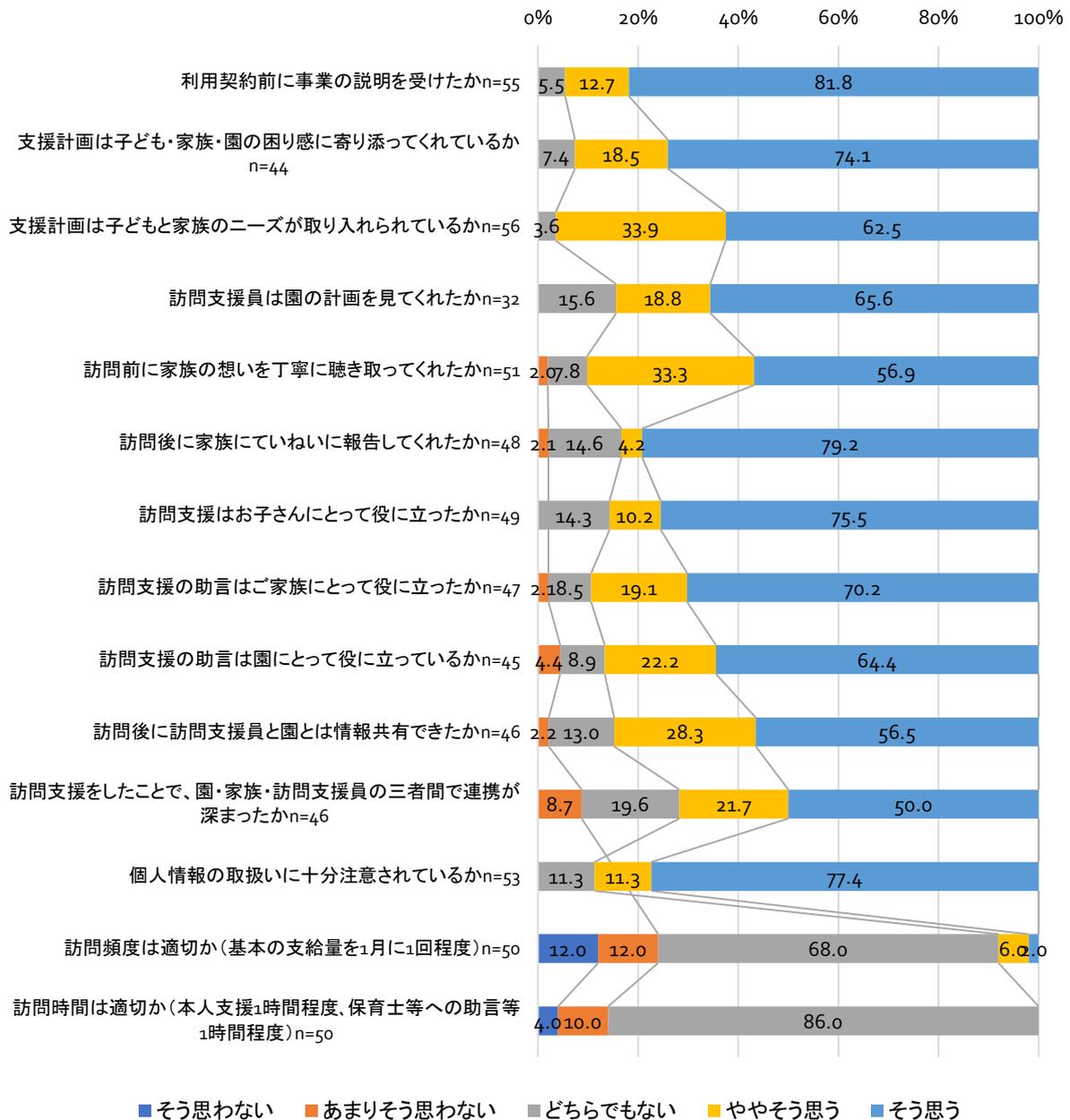
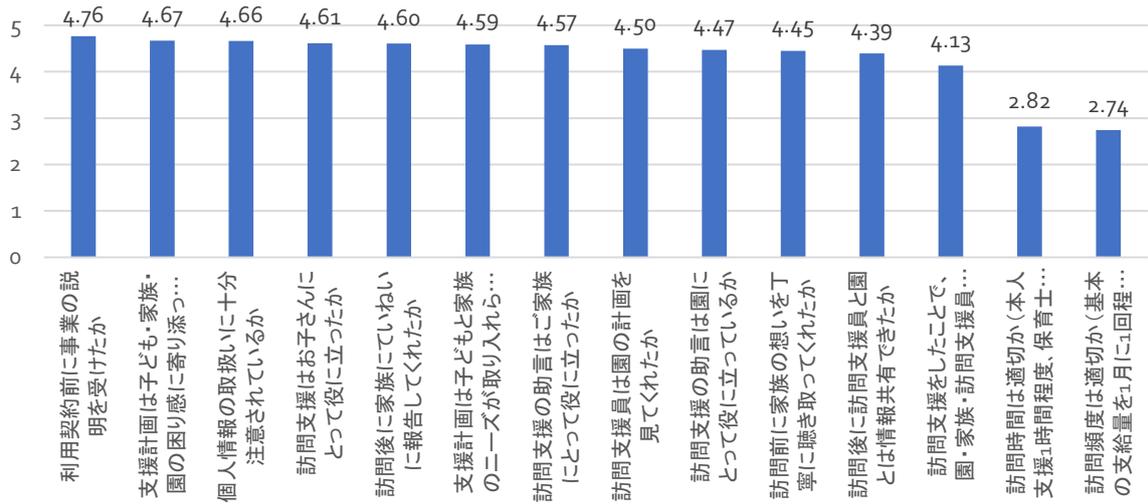
V 保育所等訪問支援を利用されている方

1. 保育所等訪問支援を利用されての感想

リトルペガサスと保育所等訪問支援の契約をされている方は79%の55人でした。以下の設問は、契約者のうちすでに保育所等訪問支援の打合せや、実際に訪問があった方たちに回答していただきました。

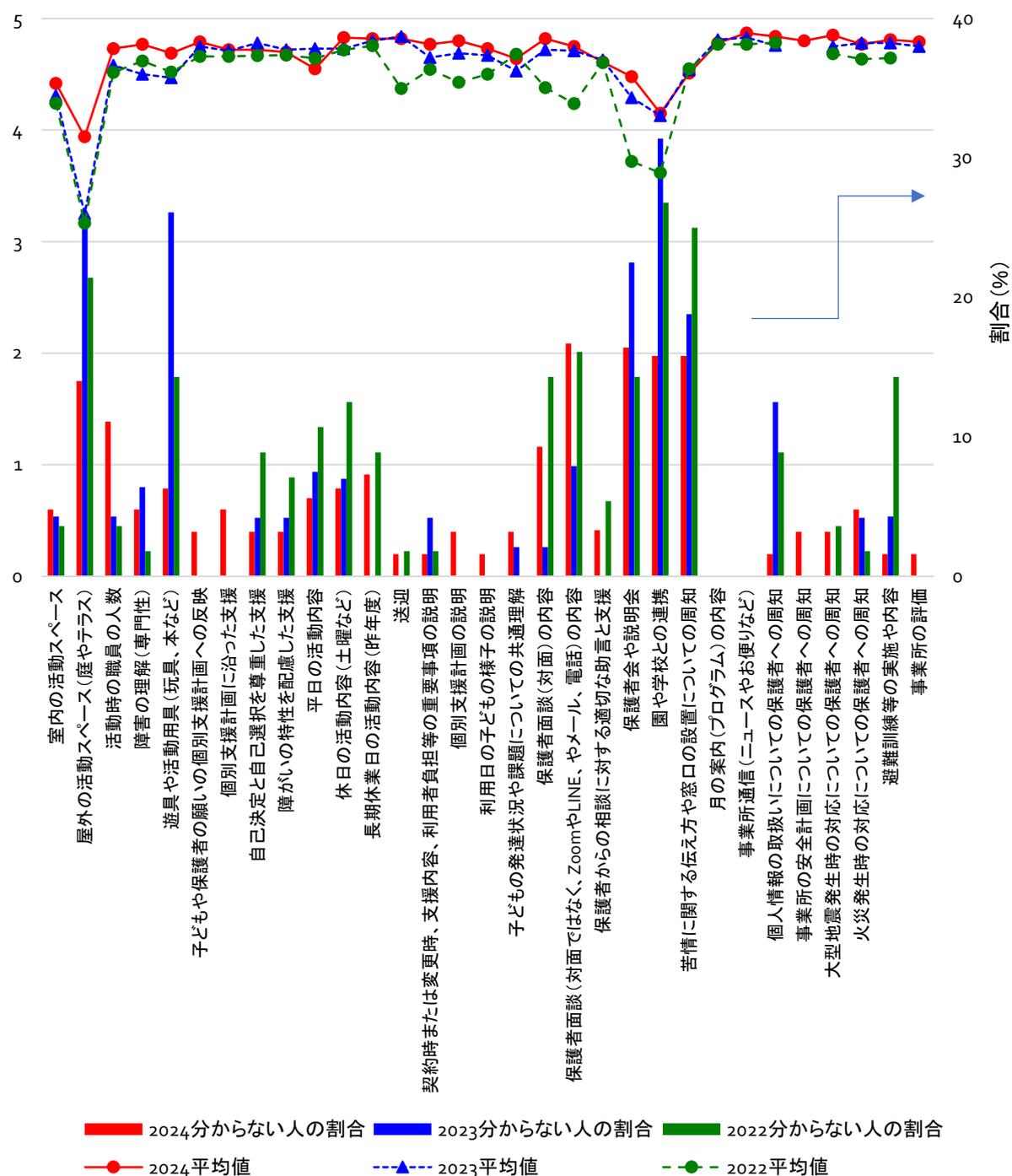


「保育所等訪問支援を利用されての感想」について、順序尺度でそう思わない（1点）、あまりそう思わない（2点）、どちらでもない（3点）、ややそう思う（4点）、そう思う（5点）とし、加算して平均点を出しました。保育所等訪問支援を利用されての感想はほぼ好評価となる一方で、「訪問頻度」と「訪問時間」に対する評価は厳しく、また、「訪問支援をしたことで、園・家族・訪問支援員の三者間で連携が深まったか」は30%近くの方が「あまりそう思わない」「どちらでもない」など課題も見受けられるなど、今後の課題となりました。



7. ジュニアペガサス

I 今年度の活動



いつもジュニアペガサスの活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

保護者の皆様にはお忙しい中、今年度もたくさんの設問があるアンケートにご回答いただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。共通項目では5点満点で平均値が「やや満足」の点数である4点を下回ることなく全体的に高評価をいただきました。その中でも昨年同様に「(項目の意味が) わからない」とご回答をいただいた設問もあり、まだまだ私たち

のお伝えの仕方、配慮不足だったことを痛感し、今後の課題ともなっています。しかし毎年「屋外の活動スペース（庭やテラス）」「遊具や活動用具（玩具・本など）」に「わからない」と回答される方が多数いらっしゃいましたが、今回のアンケートでは「わからない」の回答が昨年度よりも若干ですがポイントが減少しました。ジュニアペガサスは庭やテラスが無い為、外出活動（公園や広場）や青葉会の成人事業所で畑活動を行ったり、地域生活支援拠点あおばの広い体育館や広場で行う運動遊び等、積極的に戸外活動を取り入れてきました。また、保護者の皆様から人形やおもちゃ、マンガ本等をご寄付で頂戴しとても助かっています。

ここでは、昨年同様「わからない」の回答が多い設問や、去年よりも「わからない」の回答が増えてしまった設問について改めてコメントさせていただきます。

（1）活動時の職員の人数（わからないは、全体の 11.1%）

ジュニアペガサスは管理者兼児童発達支援管理責任者 1 名、保育士 1 名、児童指導員 4 名（内非常勤 1 名）、事務員 1 名、ジュニアペガサス兼 WITH US 運転手 1 名の職員がいます。シフト制の為、1 人～2 人が休みの日もあり、送迎の際なかなかお母様にお会いできない職員がいたり逆に同じ職員が続いてしまっている…、なんてこともあるかもしれません。毎回の送迎や連絡帳を書く職員は日々ローテーションしお母様とお会いできる事、連絡帳のお返事を書ける事を楽しみにしています。また、先日お配りさせていただきました広報誌「青葉の風」ではジュニアペガサス以外の職員の紹介もさせていただいていますので是非ご覧下さいね。

（2）長期休業日の活動内容（昨年度）（わからないは、全体の 7.3%）

こちらの項目は今年度から利用を開始された方もいますので「わからない」が多く反映されたのかと思います。平日・長期休業日の活動内容は毎月お配りしている「ジュニアペガサスニュース」でご覧いただけます。レゴにプラレール、おにごっこにドッチボール等の放課後の過ごしや、外出活動や調理活動、製作活動等、長期休みの様子も子どもたちのかわいい、笑顔いっぱいのニュースで紹介させていただいています。ぜひお子さんと一緒にニュースを見ながらその時の様子や一緒に遊んだお友達の事など聞いてみてくださいね。活動内容にご不明点等ありましたら遠慮せずにお話ください。

（2）保護者面談（対面、Zoom、LINE、メール、電話等）の内容や保護者会・説明会（わからないは、全体の 16.7%）

ジュニアペガサスでは子どもたちが楽しく過ごせる様、前期・後期と年 2 回個別支援計画を作成しております。お子様の「やってみたい！！」の気持ちをしっかりと受け止め「やった！」「できた！」の嬉しい、自信に満ち溢れたシーンや、ほっこり優しい気持ちになるようなエピソード等をスタッフ皆で話し合いお一人お一人丁寧に作成させていただいています。また、サポート加算面談でもお子様についてじっくりとお話させていただく大切な時間を設けています。送迎等ではせわしなくてなかなかお話しできない事も是非この機会にゆっくりお話しさせていただけたらと考えております。その際、大変かとは思いますが是非サポートファイルをお持ちください。大切なお子様の成長の記録を拝見させていただきます。成長の記録や学校の書類とともにジュニアペガサスの個別支援計画も綴ってくださるとうれしいです。また、昨年度から対面での面談の他

に Zoom 面談も承っております。今後ご家庭のご都合に合わせて面談方法をお選びいただけたらと思っています。

今年度はジュニアペガサス、第2ジュニアペガサス合同保護者会を5月に開催し重要事項説明書の内容や報酬改定に伴いサービス内容の変更点等をお話させていただきました。その時期にあった内容を重点的にお話させていただき他に、職員や保護者の皆様との親睦を深めよう！という事で自己紹介タイムや、各事業所の活動内容を子どもたちのかわいい写真をご覧いただきながら紹介をさせていただきます。他にも、こんな話を聞いてみたい！こんな保護者会だったらもっと参加しやすい！などリクエストがありましたらぜひお聞かせくださいね。

(4) 学校との連携（わからないは、全体の15.8%）

年度初めにご記入いただいた「子どもの目標」に加え、学校からの引継ぎで気にしてほしい事をご記入いただいております。「今日は学校でどんなことをしたの？」「トイレに行ったかな？」「給食はどれくらい食べたかな？」「忘れ物はないかな？」など、短い引継ぎの時間ではありますが、できる限り学校の先生を交えて確認・情報共有をしています。また、具体的に学校と共有してほしいことがあり連携を希望される場合は相談支援事業所、学校側、他事業所に相談させていただきます会議のセッティングをするなど積極的に対応させていただきます。どうぞ遠慮なくお話しください。

(5) 苦情に関する伝え方や窓口の設置についての周知（わからないは、全体の15.8%）

「苦情相談」について、新規の契約時や、年度初めの保護者会の中で重要事項説明書に沿ってお話しさせていただきます。事業所に、ご家族やお子さんからの相談、苦情等に対応する窓口を設置し、ご家族からご要望、苦情等があれば、ご家族、お子さんの立場に立って、誠実かつ迅速に対応し、改善に努めさせていただきます。

苦情担当窓口の担当職員を設けておりますが、担当職員でなくても他職員や管理者にいつでも何でもご相談ください

II にやりほっとについて

1. 最近起きたお子様のほっこり…♪、かわいい「にやりほっと」のエピソードと「にやりほっと」の瞬間、どう思ったか、その時にした声掛け、対応

「最近起きたお子様のほっこり…♪、かわいい「にやりほっと」のエピソード」を尋ねたところ、54名の方から回答をいただきました（回答率81.8%）。また、「その「にやりほっと」の瞬間、どう思ったか、その時にした声掛け、対応」を尋ねたところ、エピソードを紹介してくださった全員から回答をいただきました。お一人おひとりの回答の全てが微笑ましく、まるで映像を見ているように、にやりほっとな様子を拝見しました、

ジュニアペガサスではマイナス面ばかりに気を取られることなくプラス面に注目しその子の新たな強みを発見する、「にやりほっと」を大切にしています。にやりほっとがあふれる環境は職員も笑顔になり、また、ご家族にもにやりほっとを伝える事で保護者と職員の信頼関係の構築とご家庭でも心にゆとりを持ちお子様と関われるのではないかと、と考え取り組んでいます。今回はおうちや学校での「にやりほっと」「その時の保護者の皆様の対応」や「うちの子自慢♪」を保護

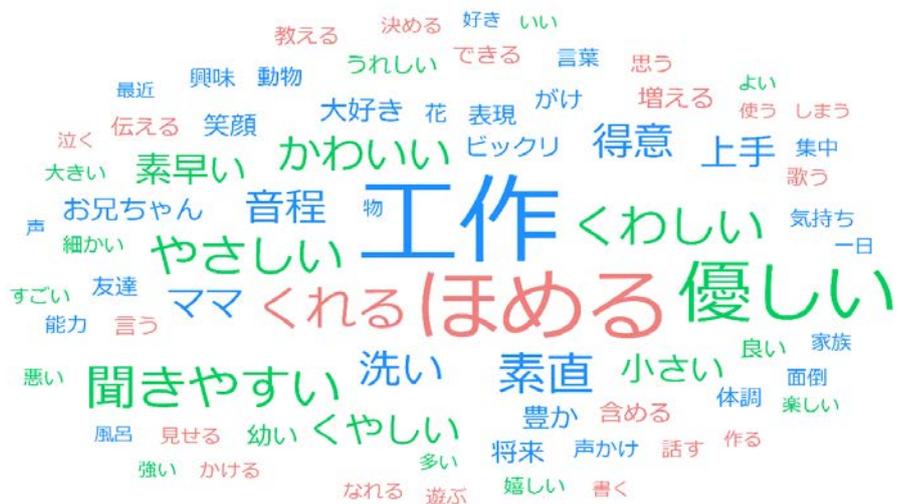
者の皆さまにお伺いさせていただきました。「かわいい〜♡」「え〜！すごい！」「か…、感動…！」の素敵なエピソードを職員全員で読ませていただき、心がほっこり温かくなり、自然と笑みがこぼれていました。

ジュニアペガサスでは毎月発送させていただいてる案内の中の「ジュニアペガサスニュース」でその月にあったにやりほっとのエピソードの一部をご紹介します。子どもたちのかわいいエピソードにニヤニヤ、ほっこり…♡してくれたら嬉しいです。

2. お子様のすてきだと思ふ所

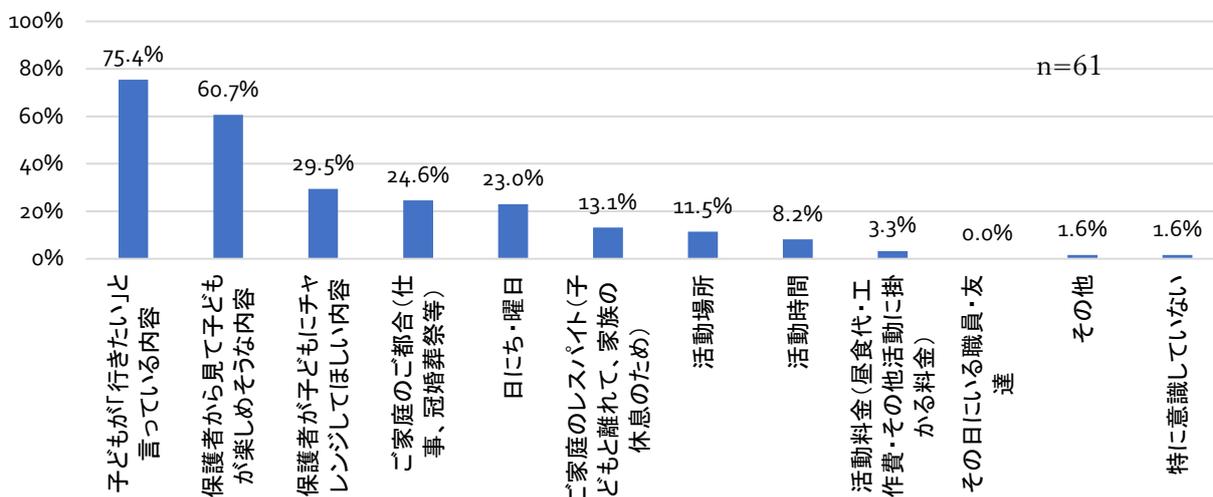
いただいた自由記述の回答は、「AIテキストマイニング by ユーザーローカル」を使用してテキストマイニング解析を行いました。よく出現する単語ほど重視してスコアが高いと評価し、出現頻度が高くスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで中心から図示されています。また、単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く位置しています（以下、自由記述は、同じ解析を用いました。）。

「お子様のすてきだと思ふ所」を記述形式で尋ねたところ59名の方から回答をいただきました（回答率89.4%）。「お子様のすてきだと思ふ所」として、「工作」と「ほめる」、「やさしい」のスコアが大変高く評価され、次いで関連して「素直」、「得意」、「かわいい」、「くわしい」などたくさんのキーワードとなる単語のスコアも高く評価されていることがわかりました。きっと保護者の皆様もお子様の素敵な姿を想像し笑顔になりながらご回答いただいた書いてくれたのではないのでしょうか。ジュニアペガサスで見ると子どもたちとはまた違う一面を知る事が出来ました。



5. 土曜日や長期休みの活動を選ぶ基準

「土曜日や長期休みの活動を選ぶ基準」について、例を列記し、選択を訪ねたところ、選択が高い順番に「子どもが「行きたい」と言っている内容」(75.6%)、「保護者から見て子どもが楽しめそうな内容」(60.7%)、「保護者が子どもにチャレンジしてほしい内容」(29.5%)、「ご家庭のご都合(仕事、冠婚葬祭等)」(24.6%)、「日・曜日」(23.0%)、「ご家庭のレスパイト(子どもと離れて、家族の休息のため)」(13.1%)、「活動場所」(11.5%)、「活動時間」(8.2%)、「活動料金(食代・工賃・その他活動にかかる料金)」(3.3%)、「その日にいる職員・友達」(0.0%)、「その他」(1.6%)、「特に意識していない」(1.6%)でした。

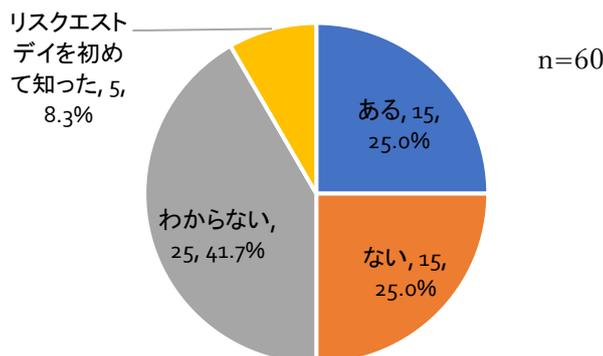


6. お子様は「リクエストデイ」に参加したことはあるか

「お子様は「リクエストデイ」に参加したことはあるか」を尋ねたところ、60名の方から回答をいただきました(回答率91%)。

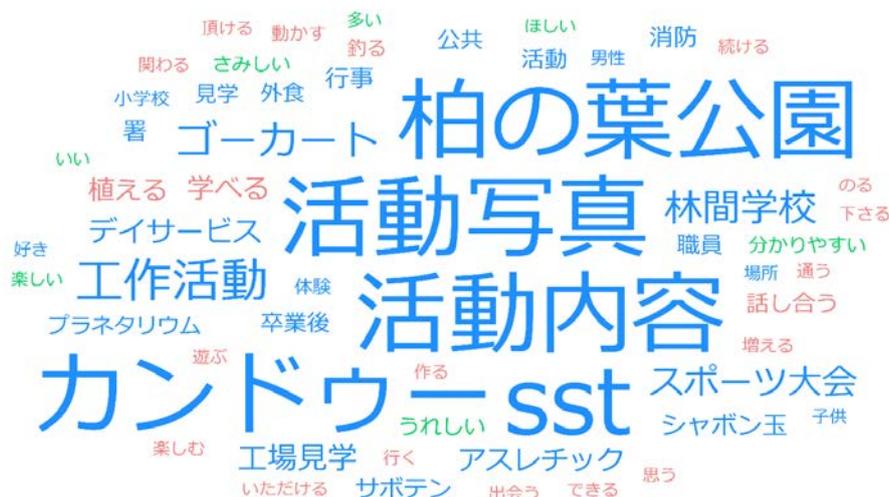
ジュニアペガサスでは子ども達に「どんな活動をしたい?」と投票式でアンケートを取り、決まった内容を2カ月先の1日活動時に「子どもたちからのリクエストデイ」とし取り入れています。その季節や月にあった活動(外出、調理、工作、その他)を職員が大まかに決め、そこに子ども達がシールを貼って投票をしています。その他に子どもたち自らが記入できるよう別に自由記入欄を作り、そこも投票式で子ども達が自由にシールを貼っています。「僕の書いた活動に〇〇君が投票してくれた!」と喜ぶ姿や「〇〇ちゃんと一緒に活動がいい!」「〇〇君はどの活動にシールを貼る?」等とお友達と相談をしてシールを貼る姿も見られます。

人気の企画の為、なかなか申し込みのご要望に応えられない事もあり申し訳ない気持ちでいっぱいです。投票してくれた子どもたちの要望にできる限り添っていける様、活動を2回に分け分散をさせる、等を考え子どもたちのリクエストに応えていけたらと考えています。



7. ジュニアペガサスで、今後取り組んでほしい活動

「ジュニアペガサスで今後取り組んでほしい活動」を記述形式で尋ねたところ 29 名の方から回答をいただきました（回答率 43.9%）。「柏の葉公園」や「カンドゥー」等の外出活動や「SST（ソーシャルスキルトレーニング）」「活動写真」のスコアが高く評価されていることがわかりました。



今回、「にやりほっと」「うちの子自慢」をお伺いさせていただき、たくさんのかわいい、素敵なエピソードや、「いつもありがとうございます！」という温かなメッセージもいただきました。子どもたち・保護者の皆様の笑顔が私たちのやる気の源！

こちらこそ「いつもありがとうございます♡」

また今年度も「ジュニアペガサスの子どもたちが中学・高校と続けて活動ができる放課後等デイサービスがほしい」「小学校卒業後、中学生のサポートもぜひ！」など卒業後もジュニアペガサスに通いたいというご意見をたくさんいただきました。

今年度は中学校1年生と小学校高学年のお子さんを優先とし、初めて同窓会を兼ねたお泊り会をあおば短期入所で行いました。「卓球部でがんばってるよ！」「私の中学の制服ってかわいいんだよ♪」「英語の授業が楽しいんだ！」等と話してくれた先輩たちの話を興味津々で聞く高学年の子どもたち…。先輩たちとの交流を通して中学校生活への期待や憧れ、また緊張や不安が少しでも軽減しますように…、と今後も少しずつですが交流会を企画していけたらと思っています。

最後に、何度もご紹介したことがありますが、ジュニアペガサスの自慢の1つを皆様にお伝えさせていただきます。

2階活動室の奥にあるジュニアペガサスオリジナルの滑り台は、松葉町に児童デイサービスが開設された2006年に、岡山で作業療法士の若松かやのさんたちのグループが使われていた感覚統合運動用の滑り台をそのまま同じく実現されたものです。（今年度の「青葉の風 No.19」では職員も滑り台に乗って写真撮影をしました！）

また、松葉町の事業所は、今は亡き漫画家の戸部けいこさんが何度も訪ねられて「光とともに…」の光君が通うおひさまハウスの活動場面としてスケッチされたところです。ジュニアペガサスの自慢ポイントの一つです！

そんなジュニアペガサスにお立ち寄りいただいた時には少し離れたところで耳を澄ましてみてくださいね。子ども達の楽しそうな笑い声が聞こえ、つられて笑顔になってしまいます♪

2階の小窓から子どもたちの様子をこっそりと覗いてみると…。滑り台におにごっこ、ドッチボールにレゴ…。笑顔あり！時には涙もあるけれど…、毎日子どもたちのにぎやかな様子が見られます。



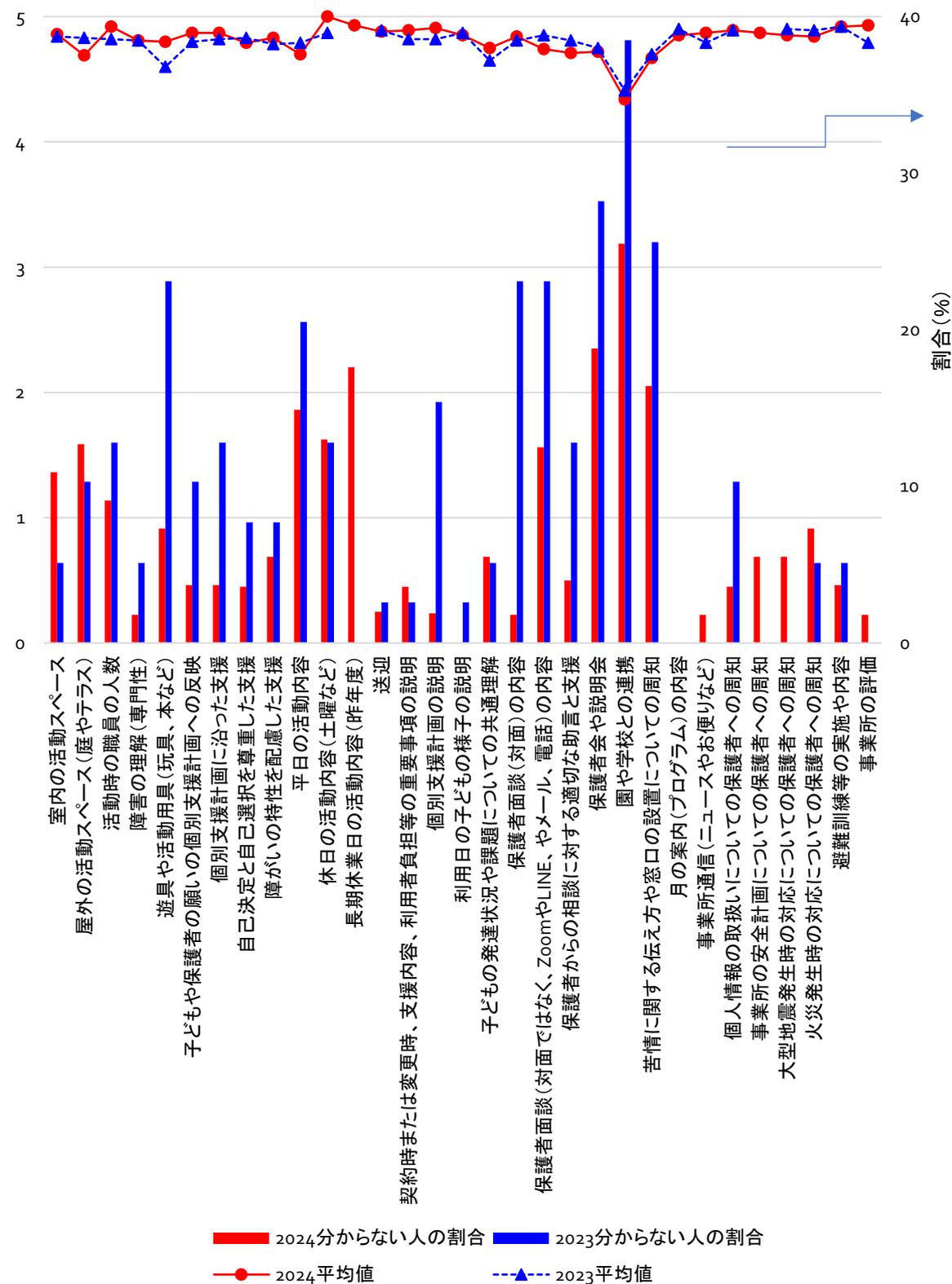
子ども達の「やってみたい！」の気持ちに答え、「やった！」「できた！」の経験から「もっと！もっとやってみたい！」と自信を持って取り組む子どもたちの笑顔とさらにはやりほっとが溢れるジュニアペガサスになるよう、また、保護者の皆様が安心してジュニアペガサスに送り出してくださいませよう、今後もたくさんの工夫で前進して参ります！

姉妹事業所の第2ジュニアペガサスともども宜しく申し上げます。

(ジュニアペガサス職員一同)

7. 第2ジュニアペガサス

I 今年度の活動



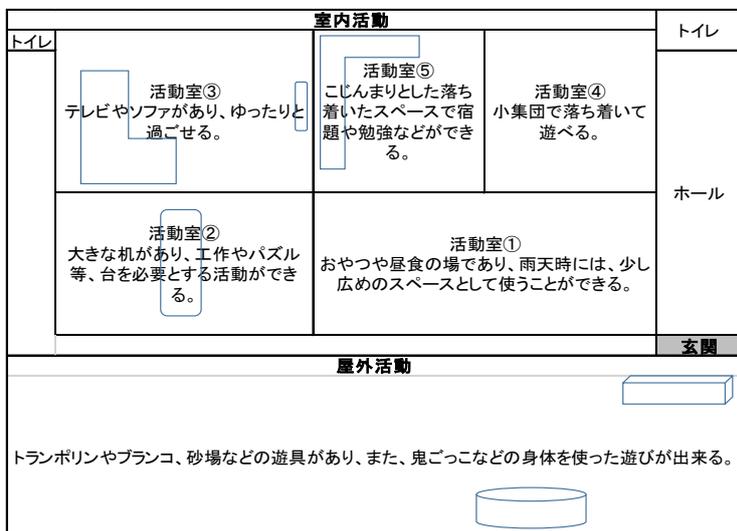
いつも第2ジュニアペガサスの活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

第2ジュニアペガサスは、昨年度4月に開所した放課後等デイサービスであり、今年度で2回目のアンケート調査となります。昨年度に引き続き、利用されている全ての方から回答を得ることが出来ました。お忙しい中、ご回答いただき、ありがとうございます。共通項目では5点満点で平均値が「やや満足」の点数である4点を下回ることがなく全体的に高評価をいただきました。

ここでは、アンケートの回答結果を踏まえて、全体的に高い評価をいただいた項目、他と比べて評価が低かった項目、そして「（項目の意味が）わからない」とする回答が多かった項目についてまとめた形でコメントさせていただきます。

(1) 事業所の環境や体制について（わからないは、全体の10%）

「室内の活動スペース」「屋外の活動スペース」「活動時の職員の人数」「遊具や活動用具（玩具、本など）」について、この項目は、事業所の環境や体制状況に関連する項目となります。全体的に高い評価をいただいている一方、「わからない」と回答される方も一定数いらっしゃいました。これは、単純に事業所の説明や見学案内が不足していたことも影響していると感じています。現在、家族の方の希望に合わせて利用契約が行えるような仕組み（例えば、リトルペガサスなど事業所外での合同契約会、ジュニアペガサスを中心に利用されていた方に向けた書面やSNSを利用した契約等）が整ってきました。直接来所していただいたり保護者会などに加えて、より事業所の内面がわかるような案内方法を検討してまいります（Zoom等を利用したオンライン見学会など）。事業所の写真や間取りを紹介しましたのでご覧ください。



間取り図

活動室の一部です。全体にすると8LDKの広い平屋です。屋外活動も行えます。

(2) 活動内容(平日、休日、長期休業日(夏休みなど))について(わからないは、全体の15%前後)

活動内容は全体的に高い評価をいただきました。特に休日の活動内容については、「わからない」「該当しない」と回答された方を除くと、全ての方が5点(満足)と回答されました。青葉会設立前のNPO時代から10数年にわたり放課後等デイサービス(児童デイサービス)の活動について保護者のアンケート調査が行われてきています。この項目に限らず回答者全員から満点をいただくことは極めてまれなことです。とりわけ活動内容についての項目で全員満点だったので、職員一同、取り組みを高く評価していただいた結果と誇りに思い、今後の励みとなります。ありがとうございます。

高い評価をいただいた一方で、活動内容が「わからない」と回答された方も少なくはありませんでした。これは、①アンケート調査が6月であったことから、休日や長期休業日の利用経験がなかった方が多かったこと②休日や長期休業日の利用が中心で平日の利用経験がない方が多かったことに加えて、情報提供の工夫が足らなかったことも要因になっていると考えています。ジュニアペガサス・第2ジュニアペガサスは、契約者が70名近くいらっしゃいますが、その内、両方の事業所を併用して利用されている方は8割を超えています。そのため、平日だけ利用、休日だけ利用という方も多く、「わからない」活動もあるかと思いますので、事業所通信や保護者会、個人面談などの機会を利用して丁寧にお伝えをさせていただきます。事業所通信の様子を紹介しましたのでご覧ください。



毎月発行している事業所通信で、月の案内(活動申込み等)と同封して送付しております。休日や平日の活動の様子はもちろん、玩具や建物、職員紹介も掲載しておりますので、是非、ご覧ください。子どもたちにも読んでもらいたく、活動の様子も全文ひらがなで読めるようにしています。

(3) 保護者会や説明会の内容について（わからないは、全体の 18.8%）

この項目は、「わからない」と回答される方が比較的に多かった項目となります。第2ジュニアペガサスでは、年1回～2回、ジュニアペガサスと合同で保護者会を開催させていただいております。保護者会では、職員紹介や事業所紹介があったり、スライドショーで活動の様子を放映しています。現在、保護者会は対面での開催が中心となっておりますので、ご都合がつかず、参加が出来なかった方向けに、保護者会で使用した資料を月の案内（活動申込み等）と一緒に同封させていただいております。また、今後は対面参加が難しい方向けにオンラインと並行したハイブリッド開催も検討していきますので、決まり次第、改めてご案内を差し上げます。



今年度開催した保護者会の様子



保護者会の報告資料（抜粋）

(4) 学校との連携（わからないは、全体の 25.5%）

この項目は、昨年度に比べ「わからない」と回答された方（38.5%）は減ったものの、第2ジュニアペガサスの質問項目の中で「わからない」と回答された方が多く、4人に1人が「わからない」と回答された項目となります。全てのご家族や本人の希望に寄り添えるよう、事業所として一層努力を重ねていきたいと思っております。学校から活動を引き継ぐときはより丁寧に確認・情報共有を図っていくとともに、今後は新たに「見える情報共有（見てわかる情報共有）」をテーマにどんなことが出来るか、取り組み内容を検討していきたいと思っております。

取り組みの周知のため、改めてここまでの取り組みについて記載させていただきました。

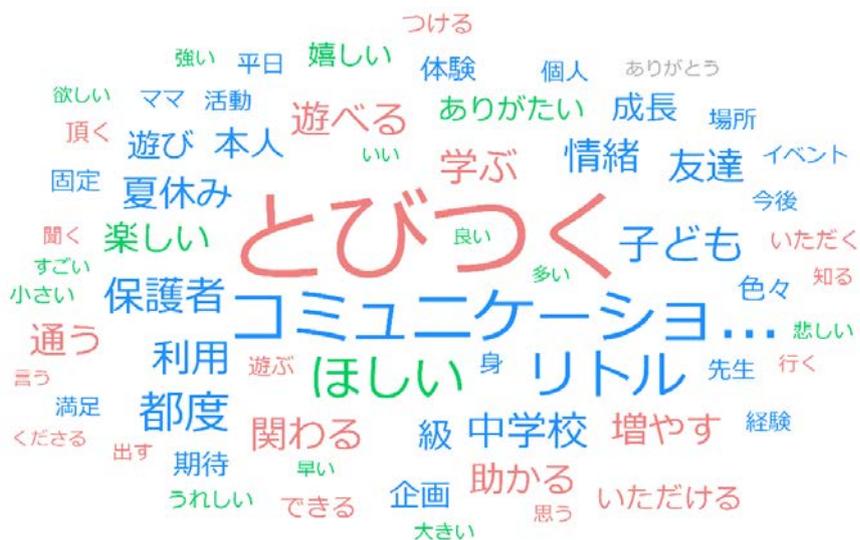
- ・ 学校から活動を引き継ぐときに、学校での様子をお聞きしています。
- ・ 支援計画のニーズを伺う「子どもの目標（保護者の願い）」に学校と情報共有してほしい内容が記載出来るようにしています。
- ・ ご家族の同意を得て保育所訪問支援員や相談支援専門員と連携し、学校での様子を共有しています。
- ・ ご家族や学校の希望に応じて、本人の情報共有会議（サービス担当者会議）に出席しています。
- ・ ご家族の同意を得て児童発達支援事業所や他の放課後等デイサービス事業所と連携して本人の情報を共有しています。

(5) 事業所評価について（5点満点中 4.93点）

多くの方に5点（満足）の評価をしていただきました。ありがとうございます。この項目のコメントは最後にまとめた形でお伝えをさせていただきたいと思っております。

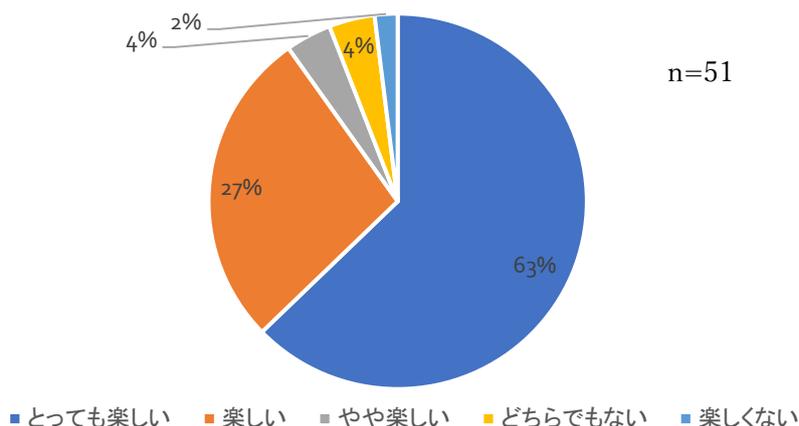
3. 第2ジュニアペガサスに期待していること

「第2ジュニアペガサスに期待していること」を記述形式で尋ねたところ39名の方から回答をいただきました(回答率70.9%)。「とびつく＝とびつくような活動の設定」、「コミュニケーション＝友達とのコミュニケーション」のスコアが高く、ご家族や子どもたちから期待されている内容がわかりました。また、卒業後の利用への期待や利用日数を増やしてほしい、子どもの様子が写真や動画で知りたいなどの期待の声があることもわかりました。



4. 第2ジュニアペガサスの遊びや活動の評価

「第2ジュニアペガサスの遊びや活動の評価」について、満足度を子どもたちに聞きました。「とっても楽しい」(63%)、「楽しい」(27.0%)、「やや楽しい」(4%)、「どちらでもない」(4%)、「やや楽しくない」(0%)、「楽しくない」(2%)となりました。たくさん子どもたちに満足していただいていることがわかりました。今後も利用されている全ての方に「とっても楽しい」と感じていただけるような事業所を目指していきます。



5. 第2ジュニアペガサスで楽しかったこと

「第2ジュニアペガサスで楽しかったこと」を記述形式で尋ねたところ50名の方から回答をいただきました(回答率90.9%)。「BBQ」、「鉄道博物館」、「アクアビーズ」「つどう＝集まる」のスコアが大変高く評価されていました。次いで関連して様々な遊びのスコアも高いことから、日々

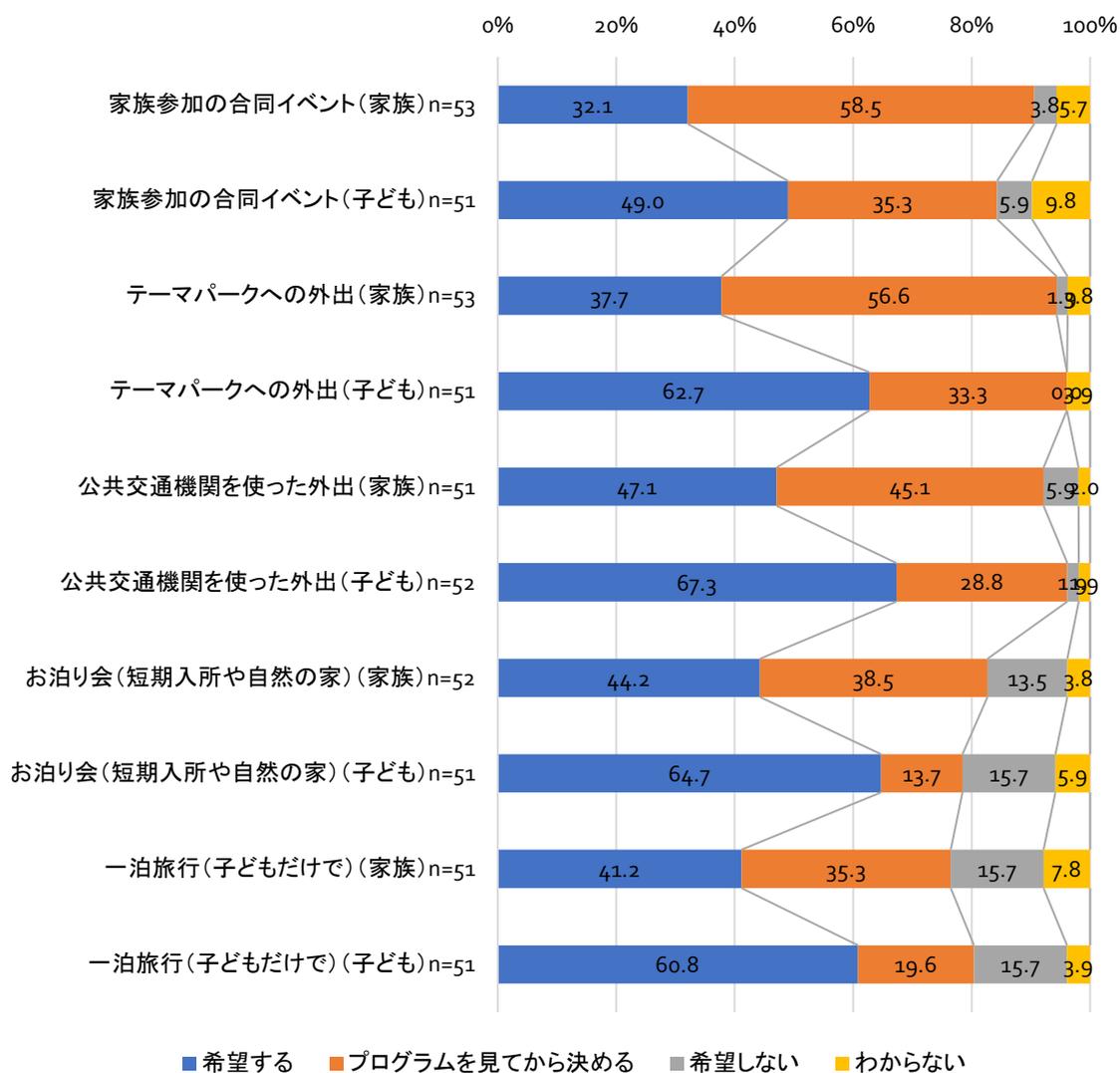
- ・ 長期休日の利用が初めてなのでプールが楽しみ。
- ・ ゆっくり DVD が見たい。
- ・ ポケカ大会
- ・ 新しいおもちゃが届くこと
- ・ 夏休み毎日あそべること
- ・ そうめん、ザリガニ、工場見学、switch ゲームの日
- ・ 鉄棒
- ・ ロボット製作
- ・ 先生の誕生日を一緒に祝う
- ・ かくれんぼをしてみたい
- ・ いつも楽しい！
- ・ 今度のお泊り会
- ・ 友達に会えること
- ・ これからも友達と戦う
- ・ 「おかあさんといっしょ」の DVD が見たい。
- ・ 第2ジュニアでお泊り会をしてみたい
- ・ プールが楽しみ
- ・ ぎょうぎづくりがしたい
- ・ USJ に行きたい (マリオ)
- ・ 子どもが作ったカレーとか今まで作ったものをママやパパにごちそうします♡みたいなイベントをしてもらえたら泣いちゃう！！
- ・ switch のゲーム大会やりたい。
- ・ 肝試し
- ・ 大きなシャボン玉
- ・ ダンス大会
- ・ 第2ジュニアペガサスのお庭をサボテンだらけにしてみたい。
- ・ 長期休みのイベントがこっていてえらぶのに親がワクワクします！
- ・ ジュニアにはないおもちゃで遊ぶこと
- ・ スカイツリーに登りたい
- ・ 成田空こう
- ・ おやつ
- ・ ペーパークラフトいっぱいやりたい
- ・ またお化け屋敷をやりたい、スライム作り、動物園、宇宙博物館に行きたい、うんこミュージアムに行きたい
- ・ お友達と遊ぶこと！
- ・ お泊り会
- ・ 広いお家で遊ぶこと
- ・ 「風船バレーをしよう」の企画をしてほしい
- ・ 「ふるさと公園で遊ぼう」の企画をしてほしい
- ・ ご飯を作る企画の時に必要なものを買出しに行くところからやってみたい
- ・ 行けなかった恐竜博物館と水族館に行きたい。
- ・ キャンプをしてみたい、みんなでイバランドに行きたい (子)
- ・ 昼食がお弁当ではなく、カレー作りとかが増えると嬉しいです。
- ・ ジュニアとの合同イベント
- ・ 段ボール工作
- ・ キャンプ
- ・ なんでも楽しい
- ・ 第2ジュニアの利用をととても楽しみにしています。
- ・ これからもどうぞよろしく願いいたします。
- ・ カラオケ、ボウリング
- ・ 空港に飛行機を見に行きたい。
- ・ 野球をやりたい

Ⅲ 第2 ジュニアペガサスの企画

8. 第2 ジュニアペガサス企画のイベントへの参加希望

第2 ジュニアペガサス企画のイベントとして、「家族参加のイベント」、「テーマパークへの外出」、「公共交通機関を使った外出」、「あおば短期の恒例お泊り会」、「一泊旅行（子どもだけで）」について、子どもたちとご家族に対して参加希望を尋ねました。結果は概ね昨年度と同じく、いずれも賛同をいただく一方で、ご家族の想いと子どもたちの希望が必ずしも一致していないことも知りました。

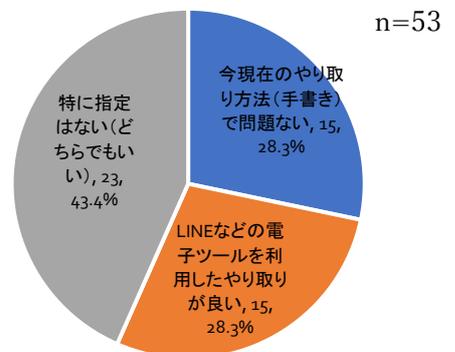
また、「プログラムを見てから決める」方が大きなウェイトを占めていることもわかりました。特に、子どもたちの回答については、全項目において「プログラムを見てから決める」のスコアが昨年度より高くなりました。第2 ジュニアペガサスの活動案内は子どもたちが自分で見て選べるよう、ふりがなやイラストなどを多く使っていることもあり、その取り組みが反映された結果と感じています。大変興味深いご意見であり、今後も楽しい企画作りの参考とさせていただきます。



ここから、事業所の運営方法や活動への希望などを伺った項目の結果となります。貴重な回答を参考にさせていただきながら、ご家族にとって、子どもたちにとって、また、私たち職員・法人にとってより良いスタイルを模索し、実施・提供させていただきたいと思えます。取り組みが変更となる場合には、適宜、ご案内を差し上げます。それまでは従来通りの方法での提供となりますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。

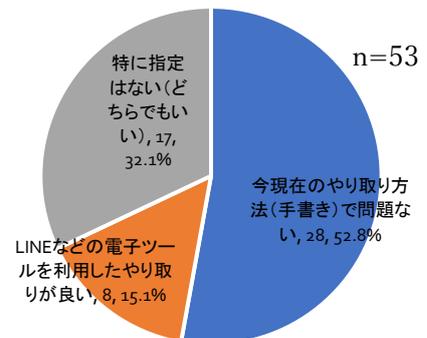
9. 連絡帳について

「連絡帳のご希望」について、例を列記し選択を尋ねたところ、28.3%の方が「LINEなどの電子ツールを利用したやり取りが良い」とされましたが、残りの71.7%の方が「今現在のやり取り方法（手書き）で問題ない」、または「特に指定はない（どちらでもいい）」でした。



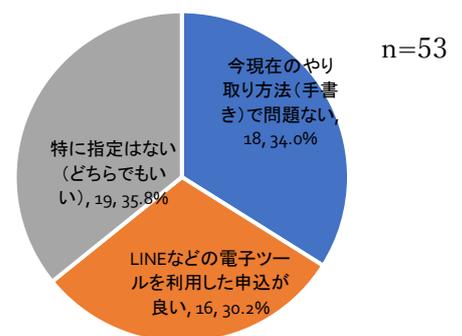
10. 利用の申し込みや案内などの配布物

「利用の申し込みや案内などの配布物のご希望」について、例を列記し選択を尋ねたところ、15.1%の方が「LINEなどの電子ツールを利用したやり取りが良い」とされましたが、残りの84.9%の方が「今現在のやり取り方法（手書き）で問題ない」または「特に指定はない（どちらでもいい）」でした。



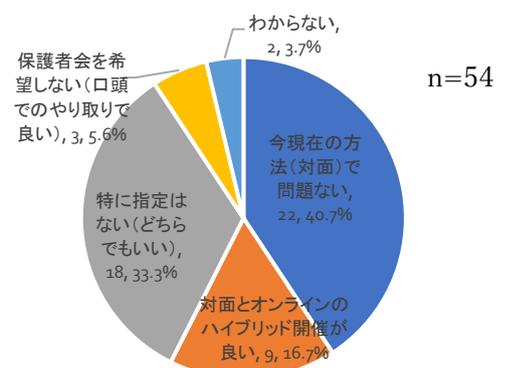
11. 利用の申し込み方法

「利用の申し込み方法のご希望」について、例を列記し選択を尋ねたところ、30.2%の方が「LINEなどの電子ツールを利用した申込が良い」とされましたが、残りの69.8%の方が「今現在のやり取り方法（手書き）で問題ない」または「特に指定はない（どちらでもいい）」でした。



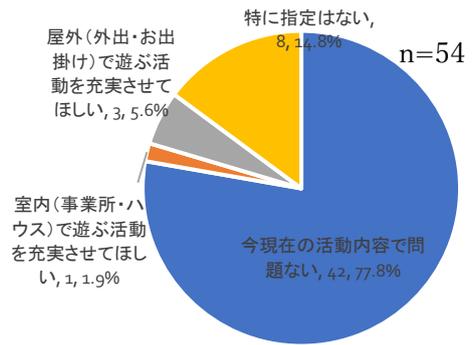
12. 保護者会

「保護者会のご希望」について、例を列記し選択を尋ねたところ、16.7%の方が「対面とオンラインのハイブリッド開催が良い」、5.6%の方が「保護者会を希望しない（口頭でのやり取りで良い）」、3.7%の方が「わからない」とされましたが、残りの74.0%の方が「今現在のやり取り方法（対面）で問題ない」または「特に指定はない（どちらでもいい）」でした。少しでも多数の方が参加できるよう、今後は対面参加が難しい方向けにオンラインと並行したハイブリッド開催も検討していきます。



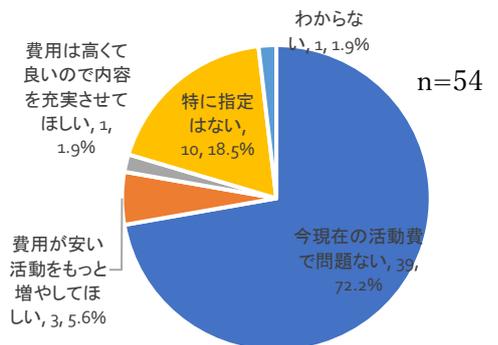
1 3. 活動内容

「活動内容のご希望」について、例を列記し選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「今現在の活動内容で問題ない」(77.8%)、「特に指定はない」(14.8%)、「屋外(外出・お出掛け)で遊ぶ活動を充実させてほしい」(5.6%)、「室内(事業所・ハウス)で遊ぶ活動を充実させてほしい」(1.9%)でした。お子さんの希望をお聞きしながら、様々な体験や遊びに取り組んで行きたいと考えています。



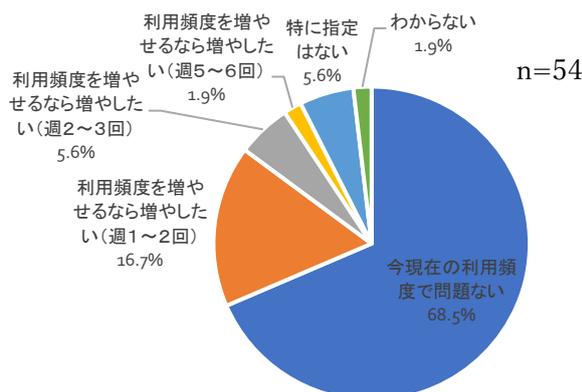
1 4. 活動費

「活動費のご希望」について、例を列記し選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「今現在の活動費で問題ない」(72.2%)、「特に指定はない」(18.5%)、「費用が安い活動をもっと増やしてほしい」(18.5%)、「費用は高くても良いので内容を充実させてほしい」(1.9%)、「わからない」(1.9%)でした。「費用が安い活動をもっと増やしてほしい」というご意見も大切にしつつ、お子さんの希望をお聞きしながら、様々な体験や遊びに取り組んで行きたいと考えています。



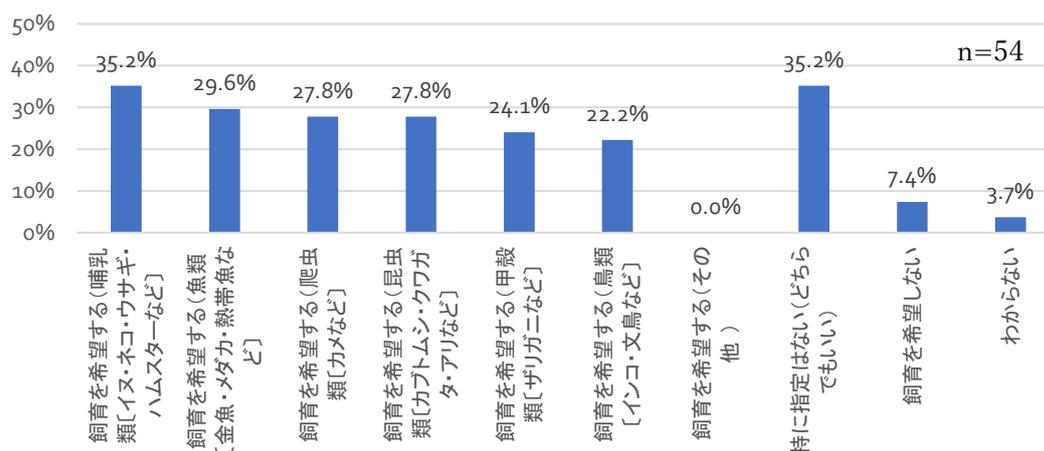
1 5. 第2ジュニアペガサスの利用頻度

「第2ジュニアペガサスの利用頻度のご希望」について、例を列記し選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「今現在の利用頻度で問題ない」(68.5%)、「利用頻度を増やせるなら増やしたい(週1~2回)」(16.7%)、「利用頻度を増やせるなら増やしたい(週2~3回)」(5.6%)、「特に指定はない」(5.6%)、「利用頻度を増やせるなら増やしたい(週5~6回)」(1.9%)、「わからない」(1.9%)でした。



1 6. 第2ジュニアペガサスでの生き物の飼育

「保護者会に参加してよかったプログラム内容」について、例を列記し選択を尋ねたところ、「飼育を希望する」を選択された方の割合が高い順番に、「イヌ・ネコ・ウサギ・ハムスターなど」(35.2%)、「魚類[金魚・メダカ・熱帯魚など]」(29.6%)、「爬虫類[カメなど]」(27.8%)、「(昆虫類[カブトムシ・クワガタ・アリなど]」(27.8%)、「甲殻類[ザリガニなど]」(24.1%)、「鳥類[インコ・文鳥など]」(22.2%)でした。



最後に、

改めて、今年度もアンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。昨年度のアンケートと比較した時、第2ジュニアペガサスの取り組みが開所1年目に比べ、広く認知され始め、またその内容が少しずつ評価されてきていることがわかりました。特に事業所評価(5点満点中4.93点)については、昨年度よりも多くの方に満足(5点)と回答していただき、事業所の自信と励みとなりました。ありがとうございます。一方で事業所の取り組みを「わからない」と回答される方が他の児童4事業所と比べてまだまだ多いことは課題として受け止めました。自由記述欄でも貴重なご指摘やご意見をいただきました。評価は自信に繋げつつも満足はせず、良いところは継続し、改善しなければいけない点については、出来ることからより良くなるよう取り組みを進めてまいります。今後、気になることや気づいたこと、不満や相談などがありましたら、なんでも構いませんので、是非、お気軽に事業所職員までお声かけいただければと思います。

重ねて、第2ジュニアペガサスが目指す特色を記載させていただきます。今回いただいたご家族の想いをもとに、今後も姉妹事業所のジュニアペガサスとも連携しつつ、子どもたちが楽しめるような活動や体験をたくさん提供してまいりますので、事業所職員一同、引き続きよろしく願いいたします。

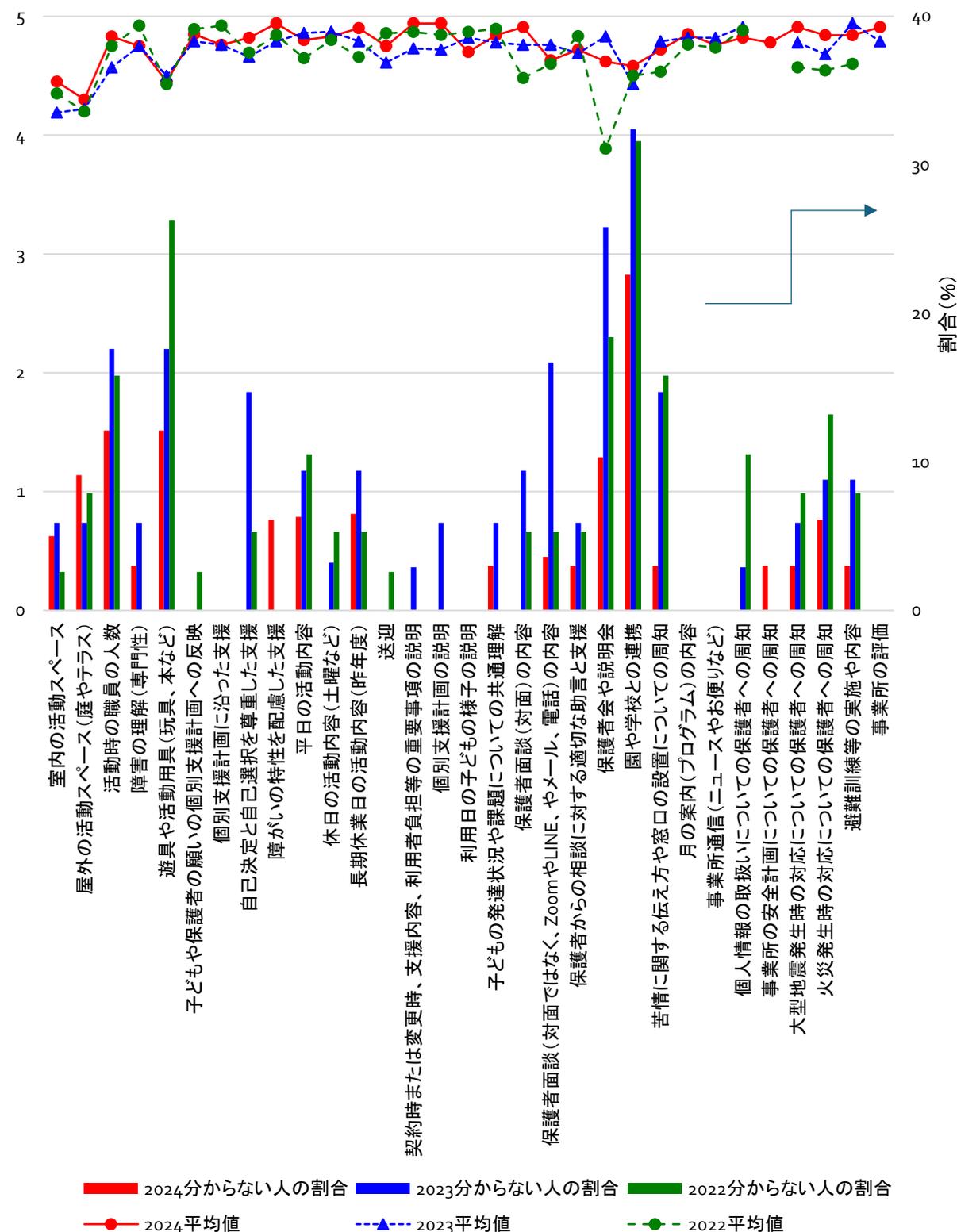
第2ジュニアペガサスが目指す、強みある特色

- ① 「安心して通える」、「安心して預けられる」事業所として、ご家族や子どもたち一人ひとり、一つひとつの「声」に耳を傾け、丁寧な支援、丁寧な対応を心がける。
- ② 子どもたちの「やりたい」、「やってみたい」の気持ちを大切に、自分たちで考え、それが実現できるよう取り組んでいく。
- ③ 事業所の立地や建物の特徴を最大限に活かして、自然豊かにのびのびと遊び、農作物や園芸、生き物の飼育、木登りや虫取り、など、幅広く自然と触れ合う機会をたくさん設ける。家庭や学校、他施設では味わえない体験や経験をたくさん積んでもらう。

(第2ジュニアペガサス)

8. 自閉症サポートセンター ペガサス

I 今年度の活動



3月以降、代理が担当していましたペガサスの管理者は、渡邊が9月から完全復帰しています。この間は、子ども達と保護者の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けしてしまい大変申し訳ございませんでした。その期間、ペガサス職員だけでなく青葉会全体でペガサスの活動に取り組んでくれました。私事ですが、いつも言う「ペガサスは青葉会の母屋です」との理事長のお言葉が、今回は力強くたくましさに含まれた感じがして心が熱くなりました。変わらず元気に遊びに来てくれた子どもたち、関わって頂いた方達、見守ってくださった保護者の方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。皆で一丸となって取り組んで頂き、それぞれの職員達の成功体験や、困ったときの対応、これまでしてきた事がない経験を積ませて頂いた事等を自信と自分の心の財産へと繋げられたら…と、嬉しい気持ちと期待で胸がいっぱいです。感謝の気持ちを子ども達へ保護者の皆様へさらにパワーアップして寄り添っていける私達になるよう精進して参ります。

今年度のアンケート結果では、共通項目では5点満点で平均値が「やや満足」の点数である4点を下回ることがなく全体的に高評価をいただきました。また、わからないの回答が全体的に少なくなりました。一方で、今回が初めての調査項目である「事業所の安全計画についての保護者への周知」は3.0%の方が「わからない」と回答されていました。また、これまで「わからない」とする方がいなかった「障害の特性を配慮した支援」については、6.1%の方から「わからない」とする回答がありました。ご家族の皆様への周知の仕方を再度反省していく事が大切だと感じています。また、職員間での共有の大切さを深く感じています。

比較的に満足度が高くなかった項目、「(項目の意味が)わからない」とする回答が多かった項目を中心にこの場でお話をさせていただきます。

(1) 事業所の安全計画についての保護者への周知

今年度から放課後等デイサービス事業所で報酬改定があり国で統一するルールが変わったひとつの中に「安全計画についての保護者への周知」があります。今回の面談では、お一人お一人に事業所の安全計画表を見ながらお話させていただきました。

ペガサスでの子ども達への安全指導をご説明します。

- ・ **小集団での活動を通して、人との関わり方、ルールを伝え、怪我や事故に繋がらないよう、安全な活動を心掛ける。**

ペガサスでの活動の体験を通して友達との関わり方、遊びのルールを伝えていきながら怪我や事故に繋がらないよう配慮して参ります。

- ・ **外出活動を通して、公共の場のマナーや交通のルールを伝える。**

土曜日の活動で電車やバスを利用してお出掛け活動を体験していきたいと思います。冬の期間の活動ではお出掛け活動を企画していく予定です。お楽しみにしてくださいね！

- ・ **緊急時や災害時に速やかに避難行動に映れるよう、定期的に避難訓練を実施する。**

毎月の最終週には、曜日毎に避難訓練を行っています。第1避難所となっている庭に出るまでを実施。外に出られない子もいます。何度か繰り返し経験していく事で少しずつ外にいけるように…、自分のやっている事を少しガマンして終わりにして外に出られるかな、等など経験を積んでいます。

ペガサスでは「避難訓練するよ！」という声掛けでスタートし、いざという時も「避難訓練するよ！」の合図で避難を開始します。「火事だー」「地震だ！」と直接的な単語で伝えるよりも落ち着いて行動出来る言葉かけだと考えているためです（大人にも！）。

（２） 障害の特性を配慮した支援

何年かぶりに「わからない」との回答があった項目です。その子その子一人一人の特性を理解し、寄り添っていく事には沢山の方法があります。色々な方向から考えていく事を大切に向き合っています。視線・表情・仕草の変化を見逃さないよう応じていき、「嫌だったね…」「〇〇かな…」等と心の抱っこ♪共感して本人の気持ちを代弁し寄り添っています。

また、寄り添い方は本人の気持ちを察し汲んでいく事が大事で、その為に視線・表情・仕草から察していく細やかな大人の気付きが大切です。繊細な視点を職員間で共有し学び合っていく事が何よりも大事とあらためて強く感じました。

また、保護者の皆様にその日の様子の話し方・伝え方、連絡帳の書き方をもっと丁寧に伝えていく事が大事なことです。忙しい中でも、細かな配慮を丁寧にそして具体的に話す事を心掛けていかなければいけないのでは…と気付かせて頂きました。

（３） 屋外活動のスペース（庭やテラス）

ペガサスには、お庭があります♪滑り台や大きなブランコで遊んだり、ダンゴムシやありを見つけて遊んだり、おままごとをして楽しんだりと遊びは様々です！土のかけらを取って「チョコレート！」と言ったり、泥だんごを作ったり、お水の中に土をサラサラ〜と指先で入れたり楽しい子ども達のアイデアに毎回感心しています！ブランコでは、「〇〇ちゃんも乗せてって言っているよ！」等と“友達と一緒に”を体験したり、「小さく漕いでね」等と相手を気遣う思いやりに触れたり、立ちこぎにチャレンジ！や、まわりに人がいない時は、大きく高く揺らして楽しんでいます。お水を使ってダイナミックに泥遊び！走ったり座ったりして遊ぶ姿も見られます。楽しく遊んだ後に汚れてしまったらお着替えをしてお帰りしたり、しっかり土やほこりを払う等、細やかな私達大人の思いやりが欠けてしまってお帰りしてしまう事も多くありました。当たり前の配慮が出来ていない自分達の足りなさに情けない気持ちです。以後、そういうところに気配りが出来る事が当たり前となっていきますように反省し改善して参ります。

（４） 平日や休日の活動内容

ペガサスでは、「音楽遊びを積極的に楽しんでいます♪」と3年目に突入しました！

ふれあいフェスタ・夕涼み会・青葉祭などのステージでの発表は子ども達の楽しみに繋がっています。活動では、キーボードを弾いたり、曲に合わせて踊ったり、ピアノの曲が聞こえてくると隣の部屋で聞いていた子が歌っていたり…リズムに合わせてコンコン・トントンと鳴らしたりしてそれぞれが楽しむ姿が多く見られるようになってきました。最近、「にじ」の曲が聞こえてくると自然と歌い出し「ラララ〜」と最後は皆で大合唱になるのです♪一体感に鳥肌が立つほど感動するシーンが見られるんです！クリスマス会も「にじ」で楽しもう！と計画中です。お楽しみに！ペガサスで使っているキーボード等の楽器や本、玩具は、ご家庭からご寄付して頂く機会がとても多くありがたいです。すぐに壊れてしまったり、使いこなして劣化してしまう頻度が

高いため、このようなご協力はとてもありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。他にもクレヨンや紙、お布団等ご家庭で使わなくなってしまった玩具や、使っていない物、処分しようと思っているんだけど…というものがありましたらお声掛けて頂けたら嬉しいです。

II 保護者会

1. 保護者会に参加してよかったプログラム内容、また今後の保護者会で期待している内容

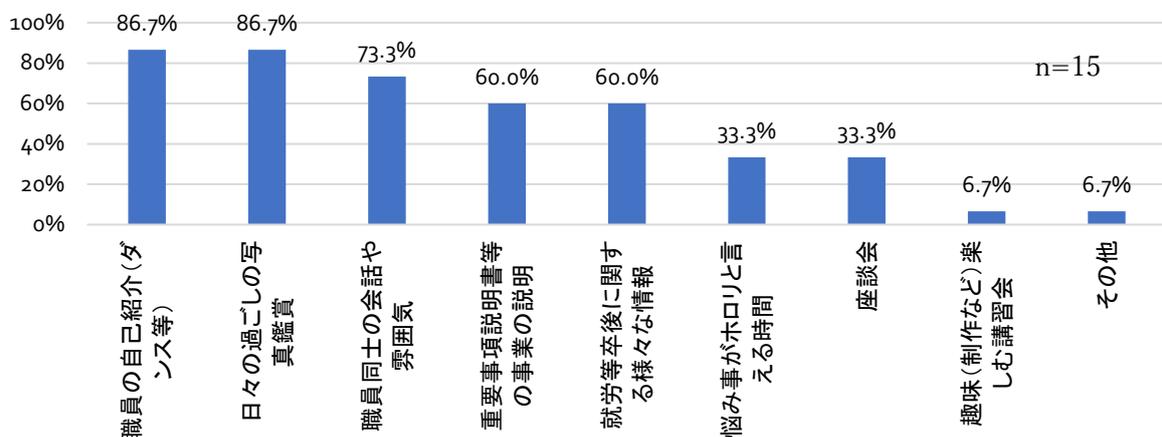
(1) 参加してよかったプログラム

「保護者会に参加してよかったプログラム内容」について、例を列記し選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「職員の自己紹介(ダンス等)」(86.7%)、「日々の過ごしの写真鑑賞」(86.7%)、「重要事項説明書等の事業の説明」(73.3%)、「職員同士の会話や雰囲気」(60.0%)、「就労等卒後に関する様々な情報」(60.0%)でした。

「保護者会で参加してよかった内容」として第1位に選んで頂いたのは「職員の自己紹介(ダンス等)」です！(やったー！)保護者会(特に年度の初めの保護者会)は発言の場があるのかな...等とドキドキしたり、自己紹介をしなくてはいけないかしら等等...緊張して来る保護者の方々が多くいらっしゃると思います。何とか楽しく参加しやすい場を作ろうと始めたのが一番に職員の自己紹介を兼ねてダンスを始めてみたのがきっかけとなり、今では残念ながら欠席されるお母様方から「ダンスが見れず残念...」等と一言添えてくださる方が多くいてくださいます。11月に保護者会をします！楽しみにご参加くださいね！

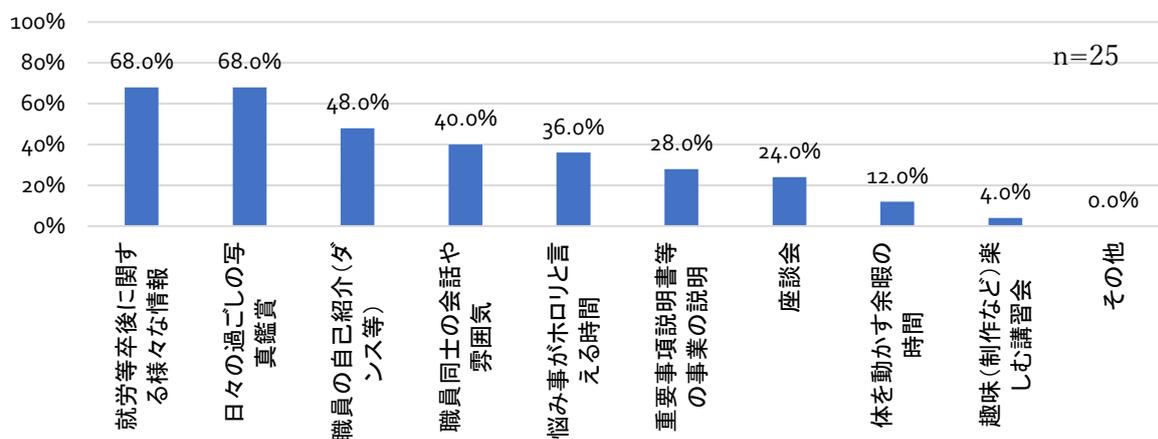
同じく1位の「日々の過ごしの写真鑑賞」では、開始を待つ時間帯に何度も何度も見られる工夫をしています。参加のご意向を聞き、来てくださる方のお子様の写真を編集してお待ちしております！

「職員同士の会話や雰囲気」や、回答数は少なかったものの「悩み事がホロリと言える時間」(33.3%)「座談会」(33.3%)等、リラックスして楽しく参加して頂く方法・工夫のヒントを頂きました。「つついししゃべっちゃったな～」と話せるきっかけを作る工夫の中で私達職員の雰囲気が大切であることは、あらためて大切な事に気付かせて頂きました。職員皆でこの大切な言葉の意味を感じ話し合いました。



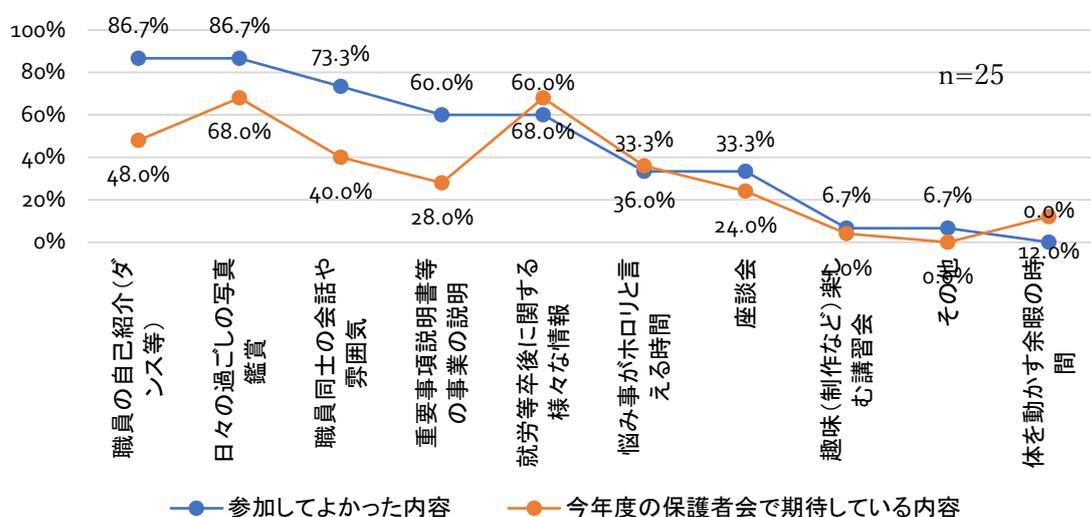
(2) 今後の保護者会で期待している内容

「今後の保護者会で期待している内容」について、例を列記し選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「就労等卒後に関する様々な情報」(68.0%)、「日々の過ごし方の写真鑑賞」(68.0%)、「職員の自己紹介(ダンス等)」(48.0%)、「職員同士の会話や雰囲気」(40.0%)、「悩み事がホロリと見える時間」(36.0%)、「重要事項説明書等の事業の説明」(28.0%)、「座談会」(24.0%)、「体を動かす余暇の時間」(12.0%)、「趣味(制作など)楽しむ講習会」(4.0%)、「その他」(0.0%)でした。



「参加してよかったプログラム」と「今後の保護者会で期待している内容」のご意見を拝見して、参加しやすい保護者会を！と意識していく心掛けが大切だと熱く思いました。「行ってみよう！」と思って頂ける内容と、ドキドキしなくても話せる環境、思わず話したくなってしまう雰囲気♪柔らかなイメージで楽しさの中にも悩み事に向き合ったり、なるほど！と解決へのきっかけを作れる会になりますように…。せっかくのペガサス仲間ですもの♪

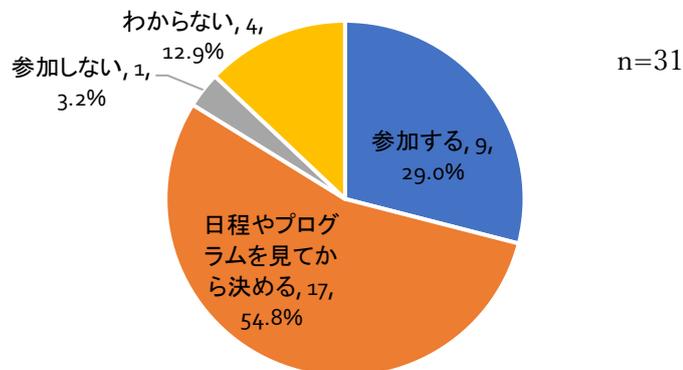
ママ達の縦横の繋がりで交流が出来る事は、異年齢で過ごせる放課後等デイサービス事業所ならではのと感じます。積極的にお母様方の関心のあるテーマに沿って実施していく為にもこまめな開催も心掛け情報をお伝えしていく事が大切ですね。保護者会の他に事例検討会(児童グループやグループホーム)や作業所説明会等も開催されています。私達から情報を積極的にお伝えしていきます。



2. 保護者会に参加してみたいか

「保護者会に参加してみたいか」について尋ねたところ、「日程やプログラムを見てから決める」(54.8%)、「参加する」(29.0%)でした。

日程やプログラムを見てから決めるというご意見を頂きあらためて少しでも早めに日程をお知らせしていく事が大切と感じました。

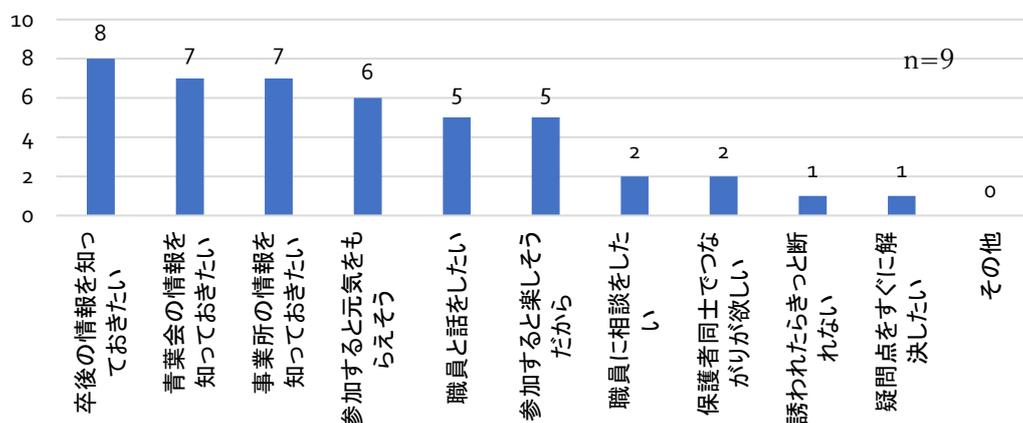


3. 「参加したい方」の理由

「保護者会に参加したい方の理由」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「卒後の情報を知っておきたい」(8人)、「青葉会の情報を知っておきたい」(7人)、「事業所の情報を知っておきたい」(7人)、「参加すると元気をもらえそう」(6人)、「職員と話をしたい」(5人)、「参加すると楽しそうだから」(5人)でした。

「卒後の情報」、「青葉会の情報」、「事業所の情報」については、「どんなところをどういう風を選んでいったらいいかな?」「どんな仕事の内容があるのかな?」等々、青葉会の事業所に限らず、お母様方の疑問にお答えできる場・相談にのれる場を作っていきたいと考えています。また、成人事業所の職員の皆さんと気軽に話せる・聞けるきっかけ作りをできるのは、青葉会のメリットです。皆さんにとってより良い保護者会の機会をつくっていきますね。

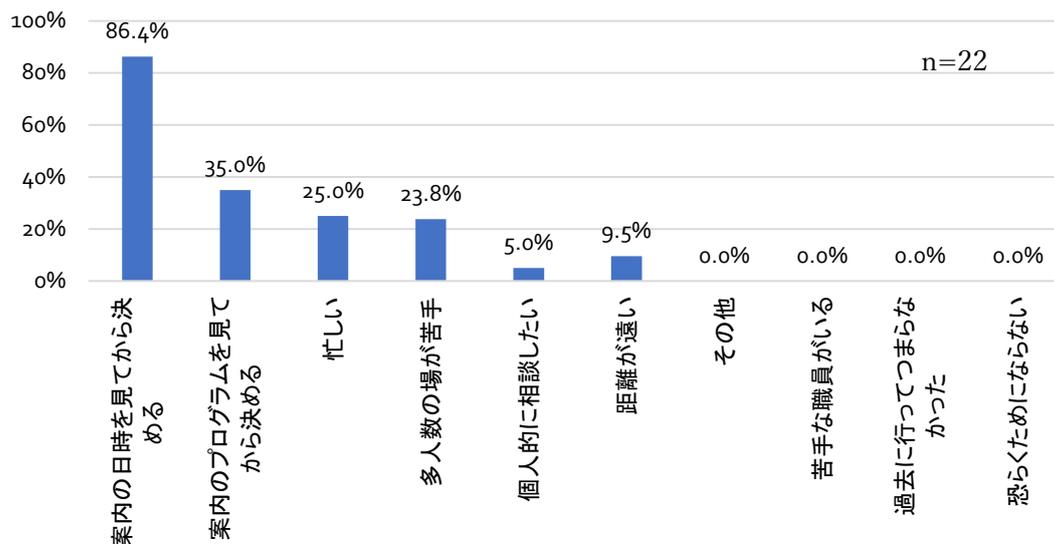
「参加すると元気をもらえそう」、「職員と話をしたい」、「参加すると楽しそう」というご意見はペガサスで私達が心掛けている“いつもの姿勢”。子ども達へ…その思いを持って毎日向き合い学校から帰ってくる子ども達をお迎えしています。保護者の皆様…ご家族の皆様にも少しでも伝わっていたら嬉しいです♪「楽しく気さくに!」は普段からの姿勢なんだと職員皆で改めて話をして心の姿勢の繋がりを意識することが出来ました。



4. 保護者会に「日程やプログラムを見てから決める」「参加しない」「わからない」とした方の理由

「保護者会に「日程やプログラムを見てから決める」「参加しない」「わからない」とした方の理由」について、例を列記し、選択を尋ねたところ、選択された割合が高い順番に、「案内の日時を見てから決める」(86.4%)、「案内のプログラムを見てから決める」(35.0%)、「忙しい」(25.0%)、「多人数の場が苦手」(23.8%)、「個人的に相談したい」(5.0%)、「距離が遠い」(9.5%)、その他(0.0%)、苦手な職員がいる(0.0%)、過去に行ってつまらなかった(0.0%)、恐らくためにならない(0.0%)でした。

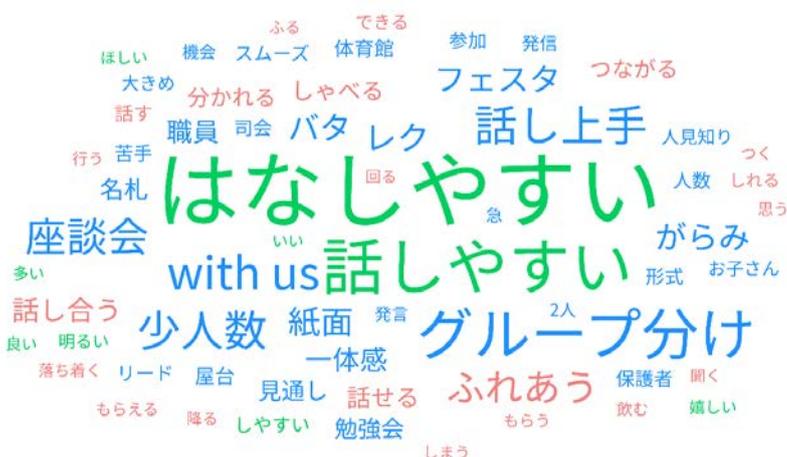
プログラムよりもまずは開催日時、少しでも早めに日程をお知らせしていきます。また、グループ分けで話し合いができるような工夫も検討していきます。



5. 保護者会での工夫について

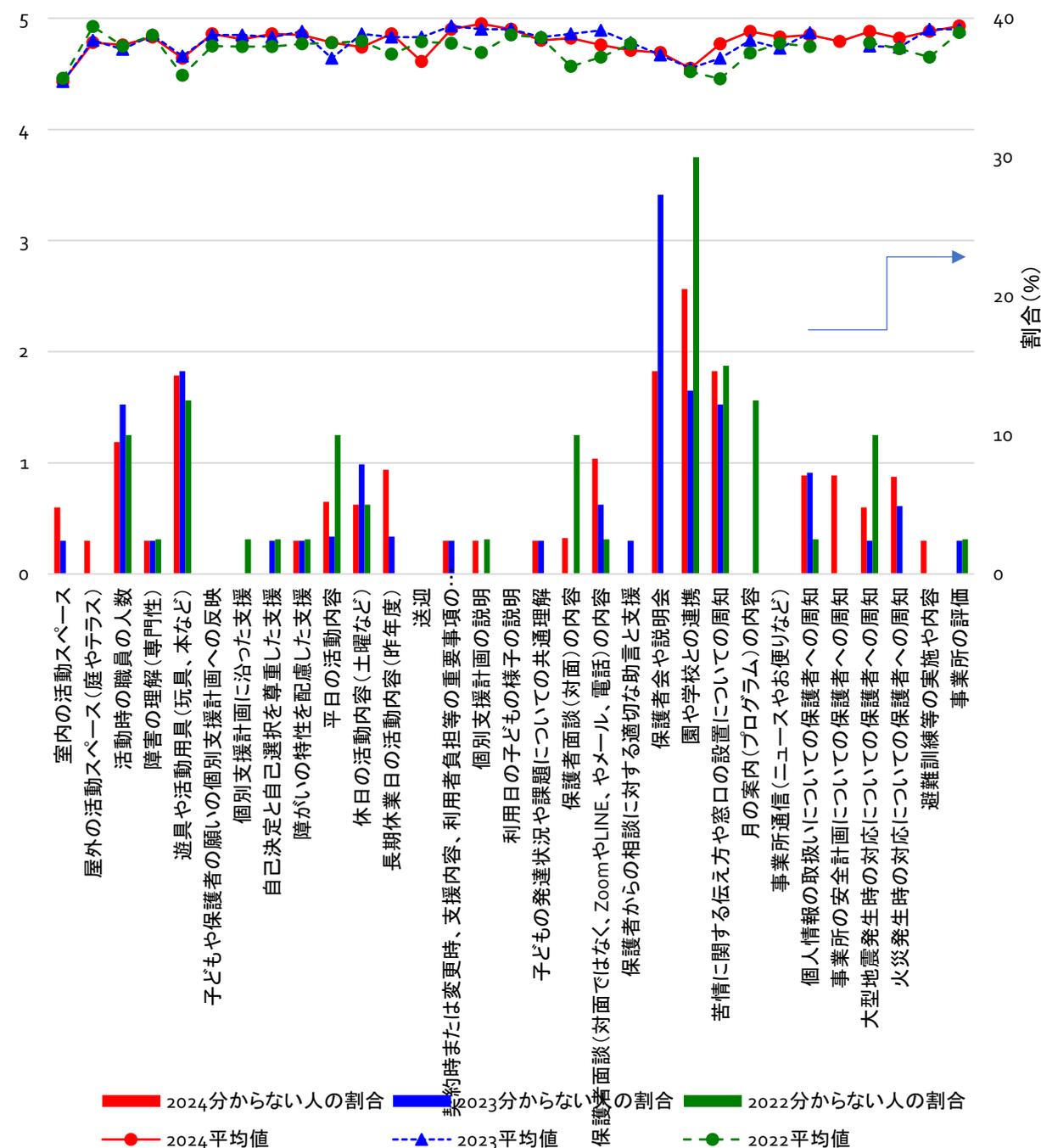
いただいた自由記述の回答は、「AI テキストマイニング by ユーザーローカル」を使用してテキストマイニング解析を行いました。よく出現する単語ほど重視してスコアが高いと評価し、出現頻度が高くスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで中心から図示されています。また、単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く位置しています（以下、自由記述は、同じ解析を用いました。）。

「保護者会での工夫」について記述形式で尋ねたところ14名の方から回答をいただきました（回答率42.4%）。「保護者会での工夫」として、「はなしやすい」のスコアが大変高く評価され、次いで関連して「グループ分け」、「WITHUS」、「座談会」、「話し上手」、「少人数」などのスコアも高く評価されていることがわかりました。



9. 第2ペガサス

I 今年度の活動



アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。有難いことに第2ペガサスはこの数年、配布したすべての方から回答をいただいております。ご利用いただいている方には、青葉会の他の放課後等デイサービスをご利用いただいている方、ご兄弟でご利用いただいている方もおり、一度に複数のアンケートに回答いただくことになりました。日々の家事、子育て、仕事などでお忙しい中でも、たくさんの項目に対して丁寧に回答をいただき、本当にありがとうございました。

毎年アンケートの回答を拝見しますと、共通項目では5点満点で平均値が「やや満足」の点数である4点を下回るものがなく全体的に高評価をいただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。また、記述式の欄では皆様から温かい言葉をたくさんいただき、アンケートの集計もウキウキしながら入力しています。

その一方で、評価の低い項目やコメント欄に目を向けると、反省するべき点が見え、職員一同身が引き締まる思いでおります。貴重なご意見を無駄にすることなく、みなさまのご意見に応え、より良い支援につなげられるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。

ここでは、今年度のアンケート結果で、「(項目の意味が) わからない」と答えた方が多かった項目と、他項目と比較して評価の低かった項目についてコメントさせていただきます。

1. 「わからない」の回答が多かった項目

①園や学校との連携（わからないは、全体の20.5%）

この項目は評価の低かった項目でもありました。ここ数年、個別支援計画作成前のアンケート「保護者の願い」の書類の中に、「学校との連携について」と記入欄を設けています。皆さんご心配されている食事や排泄、健康面など記入していただいております。記入されていなくても、学校にお迎えに行った際には先生から「元気です」「今日は〇〇を頑張っていました」という報告を受けています。学校からの引継ぎから「どんなことやったの?」「面白そうだね!」「今日は頑張りが過ぎて疲れちゃったかな?」など、会話が弾むことやその日のハウスでの過ごし方などに配慮するなどしています。また送迎時以外でも関係者会議などがあるときには、学校、他事業所と共に積極的に参加し、情報共有をしています。アンケートの結果から、保護者の皆様に連携の内容をしっかりお伝え出来ていないことがわかりました。私たち職員の課題として、今後も引き続き学校と連携を取りながら、保護者の皆様にもしっかりお伝え出来るようにしていきたいと思えます。

③ 苦情に関する伝え方や窓口の設置（わからないは、全体の14.6%）

この項目はこれまで評価も低かったのですが、保護者会や面談などを通してお伝えをしてきたことが一年ごとに評価が上がる結果に繋がったと思われれます。しかし「わからない」という一定数の結果から、まだまだお伝えしきれていないことがわかりました。今年度は保護者会や契約時に説明させていただきましたが、保護者会後に変更事項が出てくるため、説明のみとなっていました。また保護者会は参加者も少なく、参加できなかった方への重要事項説明書のお渡しができないことが、「わからない」につながったと思われれます。今年度の重要事項説明書はこれから個別面談時にお一人ずつ説明をしながらお渡しさせていただきます。重要事項説明書の中には苦情窓口担当者が記載されていますが、伝える時には勇気のいる事だと思えます。担当者に限らず、話しやすい職員で結構ですので、気になる点など、なんでも遠慮なくご相談ください。

④ 保護者会や説明会の内容（わからないは、全体の14.6%）

昨年同様に今年も春に開催いたしました。昨年度の反省を踏まえ、よりたくさんの保護者の皆様にご参加いただけるよう、4日間の日程を組ませていただきました。保護者会の中では重要事項説明について、今年度の報酬改定に伴う変更点の説明、第2ペガサスで過ごす子どもたちの写真スライドショーを見ていただきました。今回も少人数での開催となり、アットホームな雰囲気

でお話ができるので、ママたちの自己紹介では意外な趣味やあつと驚く若い頃のお話など聞くことが出来ました。そして皆さんの子育てや将来のお悩みも・・・参加された方からは高評価を頂いていますが、今回の開催が5月の面談期間の途中で、何度も第2ペガサスにおいていただく形となってしまいました。お仕事をされている保護者の皆様には参加しにくい時期だったかと思えます。子どもの成長や進路など悩みを話したり情報交換をする場も必要と感じていますので、今後も時期や期間など配慮しながらたくさんの方がホッとできるような保護者会を開催できるように工夫してまいります。

④ 遊具や活動用具（玩具、本など）（わからないは、全体の14.3%）

今回のアンケート調査を行った5事業所で比較し、この項目の「わからない」という回答が多かったのが第2ペガサスでした。利用の際には子どもたちの様子を連絡帳や送迎時に、何をして過ごしていたかをお伝えしています。その時に「どんな遊具で」、「どんな教材で」などお話ししていますが、それぞれ大好きな遊びがあります。一人の子どもで考えると、沢山の種類の遊具や教材を使うことはありません。第2ペガサスは幅広い年齢層、幅広い個性の子どもたちをお預かりしているので、沢山の種類の遊具、教材があります。その中からあれやりたい、これやりたいと伝えてくれる子どもたちとコミュニケーションを取りながら準備し、活動しています。その様子を沢山の方に知って頂くために毎月「第2ペガサスニュース」を配布させていただいていますが、伝えきれていないことが今回のアンケート調査で知ることが出来ました。保護者の皆様にも「第2ペガサスってこんなところ！」と知って頂くためにも、第2ペガサスニュースの内容の見直しや、保護者参加型活動なども企画していきたいと思えます。

2. 評価の低かった項目

①室内の活動スペース（5点満点中4.43点）

残念ながら毎年この項目は他の項目と比べると低い評価となっております。第2ペガサスは3部屋あり、ロッカーや靴箱があるテラスへの出入りがしやすい部屋、食事をしたり工作などみんなと一緒に活動する部屋、そしてお着替えをしたりお布団を敷いてゆっくりまったり出来る部屋、それぞれ使い分けをしています。一部屋ずつが家庭サイズなので、小学校低学年から大人同様の高校生までの10人が一緒に過ごすには手狭に感じることもあります。しかし、第2ペガサスは成人余暇支援事業所のトライアングルと同じ施設で活動しているので、雨の日のようにみんなが室内にいる時にはトライアングルのお部屋を使って遊ぶ事もあります。また、室内全部を開放するとワンフロアはかなり広い空間となるので、晴れていても「だるまさんが転んだ」やボール遊びなど、スペースが必要な遊びも室内でのびのびと出来ます。「藤ヶ谷ハウス」の広さを知って頂くためにも、是非面談や保護者会などにご参加ください。

②送迎（5点満点中4.61点）

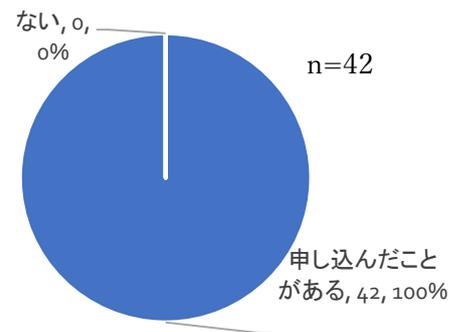
5点満点中4.61点であり高い評価をいただきましたが、この項目はアンケート調査を行った放課後等デイサービス事業所の中で、最も評価が低くなっています。現在第2ペガサスには特別支援学校4校、小中学校は9校に在籍している子どもたちをお預かりしています。学校によっては同じ学校でも学年、学部で下校時刻が違っている為、職員で全ての学校送迎に行くことが難しくなっています。その為、利用日の見直しや保護者の協力を得て利用して頂くなどしています。ま

た、学校休業日は通学時間より朝が遅いことで、送迎コースの最後のポイントの方はどうしても遅い時間のお迎えになってしまいます。これらが今回の評価の低さに繋がっていると思われます。学校休業日に関しては、今年度から保護者の送迎を条件としています。早朝や夕方のお預かりをし、保護者の就労やご家族の予定などに合わせた長時間の支援サービスを始めました。これからは保護者の方が安心して預けることが出来る事業所を目指し、出来る限りご希望に沿えるよう努力してまいりますので、お困りの点がありましたらぜひご相談ください。

II 学校休業日の活動の申込み

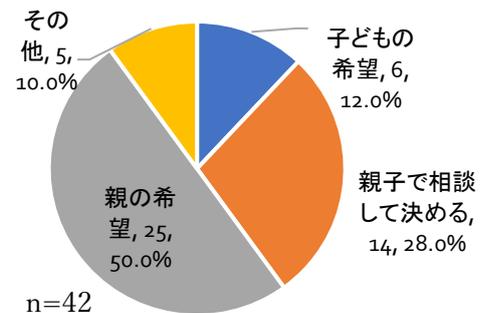
1. 学校休業日の活動に申し込んだことがあるか

「学校休業日の活動に申し込んだことがあるか」を尋ねたところ、平日しか利用しない方も長期休業日も固定利用と変わらず利用されているので、全ての方が「平日の利用」に加えて「学校休業日の活動」にも申し込まれていました。



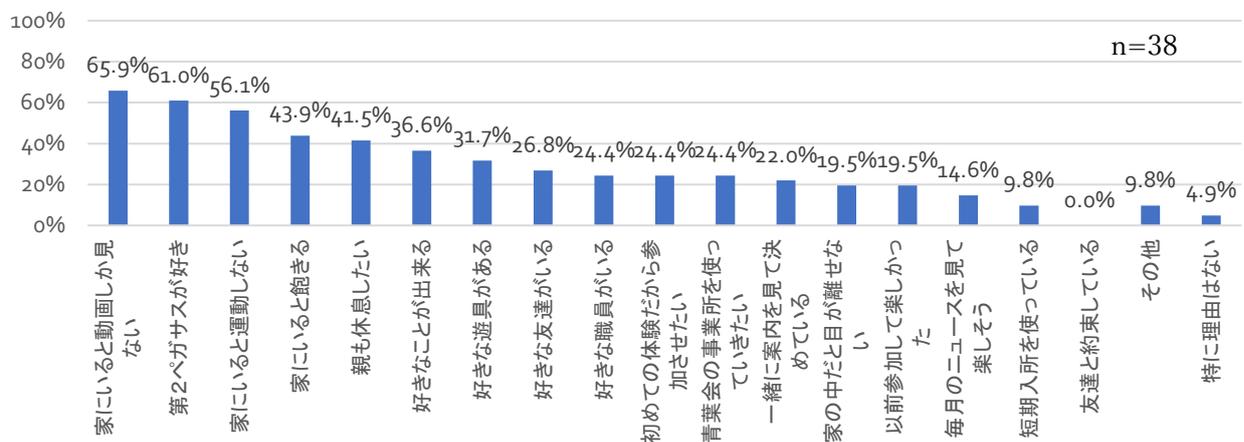
2. 学校休業日の活動の申込みの決め方

「学校休業日の活動の申込みの決め方」について尋ねたところ、「親の希望」が最も多く 50.0%、次いで「親子で相談して決める」が 28.0%、「子どもの希望」が 12.0%、その他となっていました。その他として「固定曜日に申し込んでいる」「子どもが好きそうな活動を親が選ぶ」などがありました。



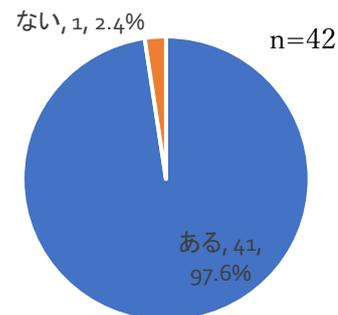
3. 申し込んだ理由

申し込んだことがある方を対象に理由を尋ねました。「家にいると○○しかししない」や「親も休息したい」という、保護者の方の困り感や希望が上位に挙がっていました。複数回答の為「第2ペガサスが好き」「好きな事が出来る」「好きな遊具がある」など、第2ペガサスに対して好意的な意見もたくさんいただきました。その他の中には「親の仕事の為」「本人のリフレッシュ」「多動なので家にいることが出来ない」などがあり、ご本人や保護者の方の事情が理由になっていることも多いことがわかりました。



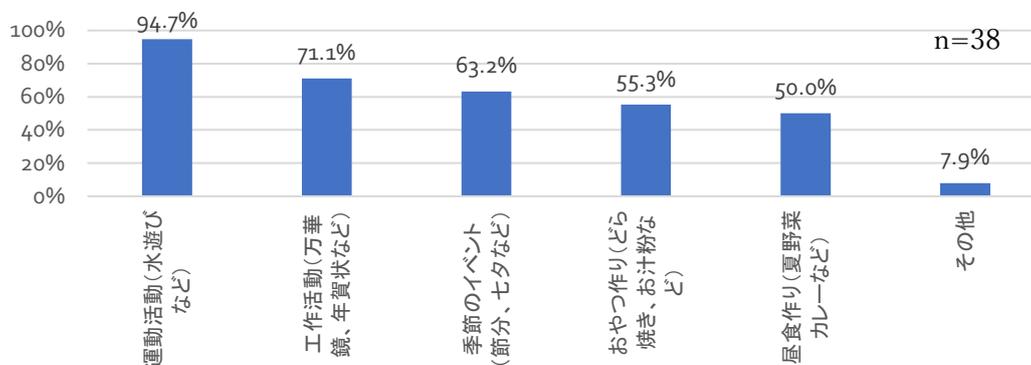
4. 学校休業日に、ハウス活動に参加したこと

「学校休業日にハウス活動に参加したことがある」と、活動場所を限定して質問をしました。97.6%の方が「ある」と回答、2.4%の方が「ない」となりました。



5. 参加したハウス活動の内容

参加したハウス活動の内容を尋ねてみました。「運動遊び」が最も多く 94.7%、次いで「工作活動」が 71.1%、「季節のイベント」63.2%、「おやつ作り」55.3%、「昼食作り」50.0%となっています。その他として「買い物」「音楽活動」がありました。第2ペガサスでは夏休みになるとテラスを使ってプール遊びをしますが、小学生のみならず中高生は水遊びをする機会が減る為、人気の活動のようです。



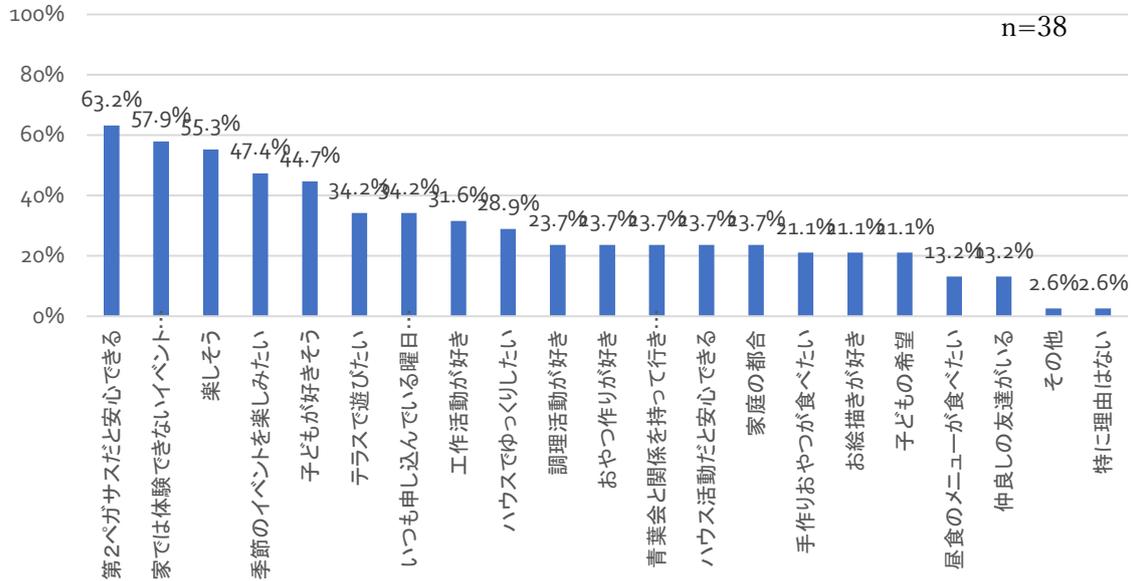
6. 5以外でやってみたいハウス活動（自由記述）。

これまで企画してきた活動内容でもご満足いただけているようですが、頂いたご意見を参考にこれからも楽しい活動を提供して参ります。

- ・ バスケットボール
- ・ サーキット、トランプやカードゲーム、塗り絵やなぞり書き等机上課題
- ・ サッカー
- ・ BBQ
- ・ 今の活動で満足しています。
- ・ BBQ
- ・ 中学生になってもプール・水遊びは大好きです。中学校でできなくなるので本人も楽しみにしています。
- ・ 特にありません。
- ・ レゴブロックで遊ぶ日とかプラレールで街を作る…など面白そうと思いました。片付け度外視です。すみません。
- ・ お買い物体験（コンビニなどの買い物）
- ・ 夏休みなどの水遊びを楽しめたようなので、ぜひ参加したい

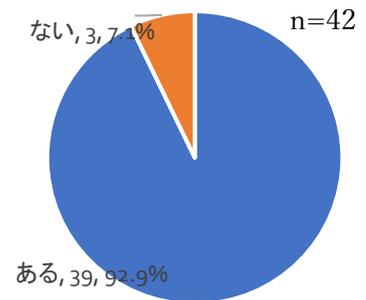
7. ハウス活動を申し込んだ理由

「ハウス活動を申し込んだ理由」を尋ねたところ、「第2ペガサスなら安心して参加できる」が63.2%、「家では体験できないイベントだから」が57.9%、「楽しそう」が55.3%と、前出の「休日活動に申し込んだ理由」とは少し違い、活動内容に前向きな意見が上位に入っていました。



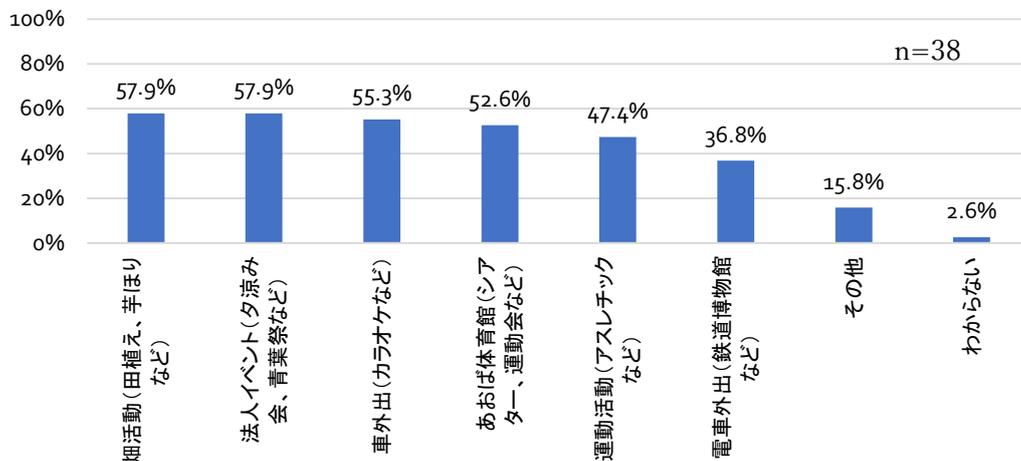
8. 学校休業日に、外出活動に参加したこと

「学校休業日に外出活動に参加したこと」について質問をしたところ、「ある」が92.9%で「ない」が7.1%となっており、ほとんどの方がハウス以外の外出活動に参加されていました。



9. 参加した外出活動

外出活動に参加した活動内容について質問をしました。「畑活動」と「法人イベント」がそれぞれ57.9%と並んでいました。電車外出は機会の少なさから参加率は低い結果となっています。その他の中には「外食」や「卒業生対象のおでかけ」「ボーリング」などがありました。



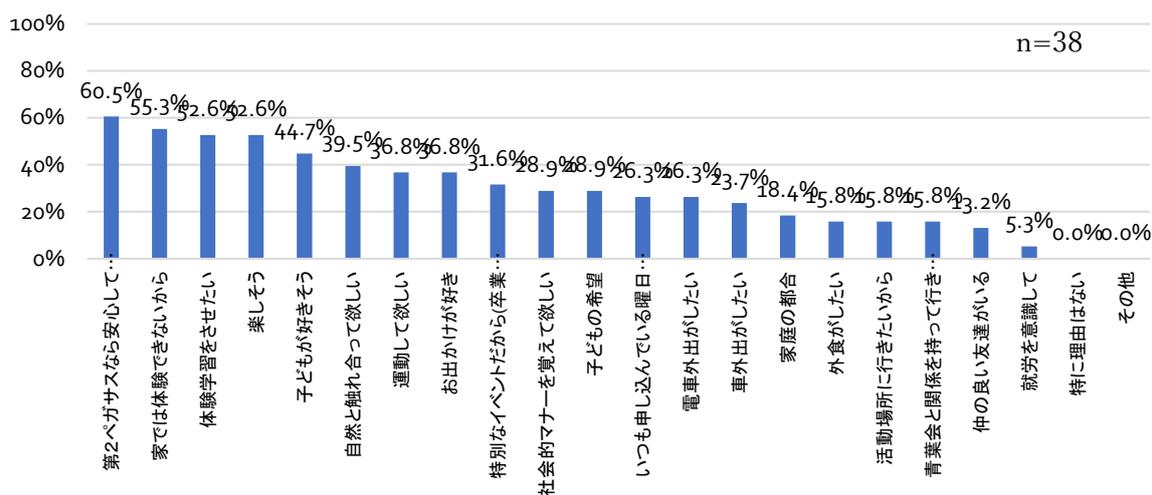
10. 9以外で行ってみたい外出活動（自由記述）。

「行ってみたい外出活動」を質問しました。「また行きたい！」と、以前に行ったことのある所もありますが、これまで私たちがチャレンジしていない「映画館」「プラネタリウム」の希望が上がっていました。今後の活動の企画の時に参考にさせていただきます。

- ・ 茨城自然博物館（校外学習で行くようなので練習したい）
- ・ 名戸ヶ谷ビオトープ（校外学習で経験して気に入った）
- ・ 航空博物館
- ・ 映画
- ・ 外食、ボーリング、映画
- ・ また鉄道博物館に行きたいです。
- ・ 動物園、遊園地
- ・ 今のところは、今のままで十分です。
- ・ アスレチックにもっといきたい（本人談）
- ・ 電車が大好きなので電車外出とっても喜びます。鉄道博物館行きたいみたいです。
- ・ 水族館・動物園
- ・ 映画館・すみだ水族館
- ・ 特にありません。
- ・ アンデルセン公園など
- ・ 各事業所見学体験
- ・ ドライブ
- ・ プラネタリウム
- ・ 動物園

11. 外出活動を申し込んだ理由

「外出活動を申し込んだ理由」を尋ねたところ、「第2ペガサスなら安心して参加できる」が60.5%、「家では体験できないから」が55.3%とここまではハウス活動を選んだ理由と同じでした。その後からは「体験学習をさせたい」「自然と触れ合って欲しい」「運動して欲しい」など、ハウス活動を申し込んだ理由と比較すると、保護者の思いが入ってくるようになりました。

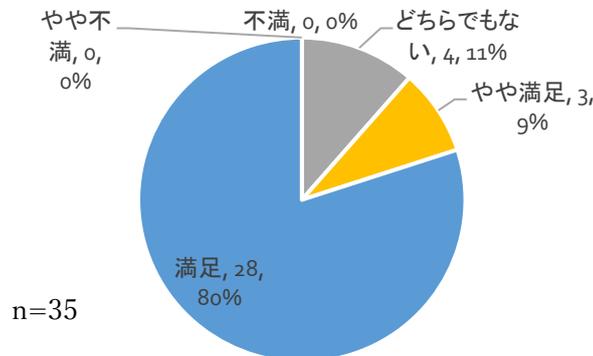


12. 外出活動を申し込まなかった理由

「外食に不安がある」、「車外出に不安がある」、「電車外出に不安がある」に1人ずつの回答がありました。

13. 2022年度以前から第2ペガサスをご利用されている方、学校休業日の活動内容が、コロナ禍による完全自粛の頃から変化したことについての満足度

コロナ禍の自粛期間から比較した活動内容の満足度を質問したところ、「満足」が80%と高く、「やや満足」が9%、「どちらでもない」が11%となり、「やや不満」「不満」は0%という結果になりました。

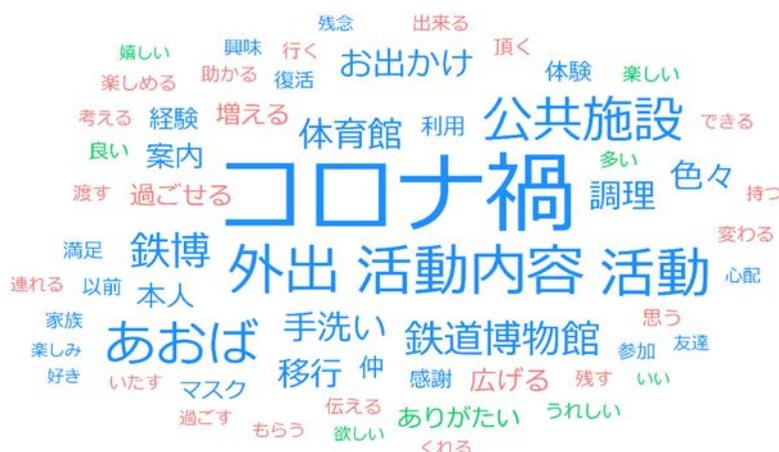


14. 13で回答した理由

「コロナ禍の自粛期間から比較した活動内容の満足度」について、選んだ理由を記述形式で尋ねたところ、19名の方から回答をいただきました（回答率45.2%）。

いただいた自由記述の回答は、「AIテキストマイニング by ユーザーローカル」を使用してテキストマイニング解析を行いました。よく出現する単語ほど重視してスコアが高いと評価し、出現頻度が高くスコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで中心から図示されています。また、単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く位置しています（以下、自由記述は、同じ解析を用いました。）。

「家族で行かないような所の経験が出来た」「外出活動が増え『こういうのが好きだったんだ』と発見があった」「楽しい活動を色々考えて頂いて、楽しく参加させてもらっています」など、高評価が多い一方で、「本人に良さそうだなと利用の希望を出しても、利用できず残念」と、人気企画に希望者が殺到してしまい、キャンセル待ちにさせていただく方がこれまでより多くなっているのが現状です。出来るだけ希望に沿えるように考えていくことが、これからの課題と感じました。



最後に・・・

毎年、たくさんの資料に目を通していただき、そして丁寧に回答いただけること、本当に感謝しております。毎日お仕事、子育て、家事などに追われ、それだけで忙しいのにアンケート・・・しかも第2ペガサスの「追加質問」は5事業所の中でも最後。一ページずつめくっていくのも大変かな？ちょっとクスッと笑ってもらおうかな？と、「なんじゃ、こりゃ？」と思うようなへたくそなイラストを付箋に描き、「第2ペガサスのページ！」の目印とさせていただきました。笑っていただけましたか？私たち職員も日々の仕事に追われ、苦手な事務仕事でイラっとすることもあります。子どもたちの笑顔に並ぶほどアンケート調査で頂く評価、コメントがとてうれしく、どんな大変なことがあっても頑張れる原動力になっています。そして皆様から頂いた貴重な意見が「どうすればいいかな？」「次はこうしてみよう！」と、チャレンジする気持ちになっています。今年の共通質問での「事業所の評価」が嬉しいことに5事業所の中でトップ。この評価に恥じぬようこれからも皆様の意見を大事に、サービス向上に努め、子どもも家族も職員も、みんなが笑顔いっぱい第2ペガサスであり続けられるように頑張ります！

(第2ペガサス職員一同)